

2001年4月の地震活動の評価

1. 主な地震活動

4月3日に、静岡県中部の深さ約35kmでマグニチュード(M)5.1の地震が発生し、最大震度5強を観測し、被害を伴った。

2. 各地方別の地震活動

(1) 北海道地方

- 4月14日に、釧路沖の深さ約50kmで、M5.4の地震が発生した。この地震は太平洋プレートと陸のプレートの境界付近で発生したものである。
- 4月27日に、根室半島南東沖の深さ約80kmで、M5.9の地震が発生した。発震機構は北北西-南南東方向に張力軸を持つ正断層型で、太平洋プレート内部で発生したものである。

(2) 東北地方

- 4月3日に、青森県東方沖の深さ約60kmで、M5.4の地震が発生した。この地震は太平洋プレート内部で発生したものである。

(3) 関東・中部地方

- 4月10日に、千葉県南部の深さ約100kmで、M4.5の地震が発生した。この地震は太平洋プレート内部で発生したものである。
- 4月16日に、福井・滋賀県境（福井県嶺南地方）の深さ約15kmで、M4.0の地震が発生した。
- 4月20日に、埼玉県東部の深さ約60kmで、M4.0の地震が発生した。この地震は、フィリピン海プレート内部で発生したものである。
- 三宅島付近から新島・神津島付近にかけての地震活動は、低調ながらも続いている。また、周辺のGPS観測によれば、地殻変動も、まだ完全な停止にまでは至っていない。
- 4月3日に、静岡県中部の深さ約35kmでM5.1の地震が発生し、最大震度5強を観測し、被害を伴った（第86回地震調査委員会評価文参照）。余震活動は、その後も、時間とともに低下している。
- 静岡県中部の、沈み込むフィリピン海プレート内の地震活動は、4月3日の静岡県中部の地震後、誘発されたと思われる微小地震の活動が、一時的に活発化したが、その後、減少に向かっている。一方、駿河湾及びその周辺の地殻内の地震活動はやや活動の低い状態が続いている。また、東海地方のGPS観測の結果には、従来の変化傾向から変わるものはない。
- 4月15日に、鳥島東方沖で、M6.4の浅い地震が発生した。発震機構は正断層型で、太平洋プレートの沈み込みに伴う地震である。

(4) 近畿・中国・四国地方

- 3月24日に発生した「平成13年(2001年)芸予地震」の余震活動は、引き続き次第に減衰している。
- 2000年10月6日に発生した「平成12年(2000年)鳥取県西部地震」の余震活動は、さらに減衰してきている。

(5) 九州・沖縄地方

- 4月25日に、日向灘の深さ約40kmで、M5.6の地震が発生した。発震機構は、ほぼ東西方向に張力軸を持つ型で、フィリピン海プレート内部で発生したものである。

補足

- 5月8日に、十勝支庁南部の深さ約50kmで、M4.5の地震があった。

2001年4月の地震活動の評価についての補足説明

平成13年5月9日

地震調査委員会

1 主な地震活動について

日本及びその周辺域では、マグニチュード(M)4.0以上の地震の発生は46回（3月は51回、2000年末までの30年間の月平均は約46回。）観測された。この内、M5.0以上の地震の発生は10回（3月は6回）であった。

また、M6.0以上の地震の発生は、1998～2000年の間に、年に平均16回（2000年までの30年間の年平均は約16回）発生している。2001年は1月～4月までに、4回発生している。

2000年4月以降2001年3月末までの間、主な地震活動として評価文に取り上げたものは次のものがあった。

－ 北海道胆振支庁（有珠山周辺）

2000年3月30日M4.3（深さ約10km以浅）及び4月1日M4.6（深さ約10km以浅）を始めとする火山活動に関連する地震活動

－ 千葉県北東部

2000年6月3日M6.1^{*)}（深さ約50km）

－ 石川県西方沖

2000年6月7日M6.1（深さ20km以浅）

－ 熊本県熊本地方

2000年6月8日M4.8（深さ約10km）

－ 三宅島付近から新島・神津島付近にかけての地域

2000年6月末から同年9月までマグマ活動に関連する活発な地震活動が継続。7月1日M6.4（深さ約10km）及び7月30日M6.5^{*)}（深さ約10km）。

－ 茨城県沖

2000年7月21日M6.4^{*)}（深さ約50km）

－ 鳥取県西部「平成12年（2000年）鳥取県西部地震」

2000年10月6日M7.3^{*)}（深さ約10km）

－ 西表島付近

2000年11月14日M4.4（深さ約10km）

－ 新潟県中越地方

2001年1月2日M4.4（深さ約10km）

－ 新潟県中越地方（1月2日の地震から南南東に40kmのところ）

2001年1月4日M5.1（深さ約10km）

－ 兵庫県北部

2001年1月12日M5.4（深さ約10km）

－ 新島・神津島付近2001年2月13日M3.9（深さ約10km）

－ 安芸灘「平成13年（2001年）芸予地震」2001年3月24日M6.7^{*)}（深さ約50km）

注^{*)} 第3項参照。

2 各地方別の地震活動

（1）北海道地方

－ 4月30日に、北海道東方沖でM5.2の地震。

（2）東北地方

「4月3日に、青森県東方沖の深さ約60kmで、M5.4の地震が発生した。この地震は太平洋プレート内部で発生したものである。」：

余震活動は減衰しており、その後、特に活発化する傾向はない。この地震の北東から南東の海域にかけては、1931年(M7.6)、1968年(M7.9)、1994年(M7.6^{*)})、1995年(M7.2^{*)})と過去にM7クラスの地震が取り囲むように発生している。今回の地震を中心とした半径約25kmの範囲では、1926年以降M5.0以上の地震の発生はなかった。

注^{*)} 第3項参照。

－ 4月12日に、福島県沖でM5.0の地震。この地震の沖合50kmのところで、2月25日にM5.8の地震が発生している。

（3）関東・中部地方

「静岡県中部の、沈み込むフィリピン海プレート内の地震活動は、4月3日の静岡県中部の地震後、誘発されたと思われる微小地震の活動が、一時的に活発化したが、その後、減少に向かっている。一方、駿河湾及びその周辺の地殻内の地震活動はやや活動の低い状態が続いている。また、東海地方のGPS観測の結果には、従来の変化傾向から変わるものはない。」：

静岡県中部のフィリピン海プレート内の地震（M1.5以上）の発生頻度が、1999年8月以降、それより前の平均（30日当たり6回程度）以上となることが連続することなく三度あったものの、全体としては平均より少ない状態が続いていた。しかし、2000年10月15日からは30日当たり9回、10回、7回と平均を超えた状態が連続し、その後、5回、10回と推移している。その後の4月3日の地震を含む最新の区間（2001年3月14日から4月12日）は10回であった。なお、4月3日の地震で誘発された微小地震の大部分はM1.5未満である。

（なお、本評価結果は、4月27日に開催された地震防災対策強化地域判定会委員打合会における見解（参考参照）と同様である。）

（参考）最近の東海地域とその周辺の地震・地殻活動（平成13年4月27日気象庁地震火山部）

「東海地域においては、4月3日に静岡県中部の深さ33kmでM5.1の地震が発生し、静岡県内で最大震度5強のゆれを観測しました。静岡県中部でM5以上の地震が発生したのは、1965年4月21日（M6.1）以来でした。今回の地震は沈み込むスラブの上面付近で発生し、最大M4.0の余震を伴いましたが、余震活動は順調に減衰していることから、今回の地震が直ちに東海地震に結びつく恐れはないと考えています。」

一方この地震の発生をきっかけとしてスラブ内では余震域の周辺で地震活動の一時的な活発化が認められました。スラブ内の地震活動はその後減少に向かっていますが、今後の活動については、しばらく推移を見守る必要があります。駿河湾及びその西岸域の地殻内の地震活動については、今回の地震に伴う変化は観測されず、やや活動の低い状態が依然として継続しているように見えます。

地震に伴って震源の周辺で体積歪計に歪のステップが観測され、一部の観測点では余効変化が観測されていますが、観測点周辺の局所的な変化と考えられ、異常な地殻変動に結びつくものとは考えられません。」

- 富士山付近の深さ15km前後で、低周波地震が4月30日頃から増加した（最大は、M2.3）。

（4）近畿・中国・四国地方

「2000年10月6日に発生した「平成12年（2000年）鳥取県西部地震」の余震活動は、さらに減衰してきている。」：

鳥取県西部地震により地震活動が誘発された東側と西側の領域では、それぞれ、M2.0以上の地震が1回ずつ発生した。

- 4月3日に周防灘の深さ約70kmのフィリピン海プレート内部でM4.4の地震。

（5）九州・沖縄地方

4月については特に補足する事項はないが、期間外の5月になってから次の活動があった。

- 5月7日に、大分県西部で、M3.2を最大とする地震活動。

3 マグニチュードについて

気象庁は、平成13年4月23日に、気象庁マグニチュードの一貫性を保つために従来の決定方式を見直し、1994年の観測網の変更に伴う影響を補正する新しい方式を導入することとした。方式の見直し過程において、1994年以降に発生した地震のうち下の17地震については、観測網変更以前のマグニチュード決定方式が忠実に再現できたと考えられるため、その値をもって気象庁マグニチュードの値を修正した。1994年以降のこれ以外の地震についても、新しい方式に則った修正が行われる予定である。

地震調査委員会では、今後とも気象庁マグニチュードを評価文のマグニチュードとして採用することとし、上記修正に伴い、これまでに発生した地震のマグニチュードを次のとおり修正することとする。

発生年月日時分	これまでのマグニチュードの値	修正後
1994/10/04 22:22 北海道東方沖地震	8.1	8.2
1994/12/28 21:19 三陸はるか沖地震	7.5	7.6
1995/01/07 07:37 岩手県沖	7.1	7.2
1995/01/17 05:46 兵庫県南部地震	7.2	7.3
1996/02/17 00:22 福島県東方沖	6.5	6.8
1996/09/11 11:37 銚子付近	6.2	6.4
1996/10/19 23:44 日向灘	6.6	6.9
1996/12/03 07:17 日向灘	6.6	6.7
1997/06/25 18:50 山口県北部	6.3	6.6
1999/01/24 09:37 種子島近海	6.2	6.6
2000/01/28 23:21 根室半島南東沖	6.8	7.0
2000/06/03 17:54 銚子付近(千葉県北東部)	6.0	6.1
2000/07/15 10:30 新島・神津島近海	6.3	6.3(変わらなかった)
2000/07/21 03:39 茨城県沖	6.0	6.4
2000/07/30 21:25 三宅島近海	6.4	6.5
2000/10/06 13:30 鳥取県西部地震	7.3(暫定)	7.3
2001/03/24 15:27 芸予地震	6.4	6.7

今回の補足説明で*)をつけたマグニチュードの値は修正後のものである。

参考1 「地震活動の評価」において掲載する地震活動の目安

M6.0以上のもの。又は、M4.0以上（海域ではM5.0以上）の地震で、かつ、最大震度が3を超えるもの。

参考2 「地震活動の評価についての補足説明」の記述の目安

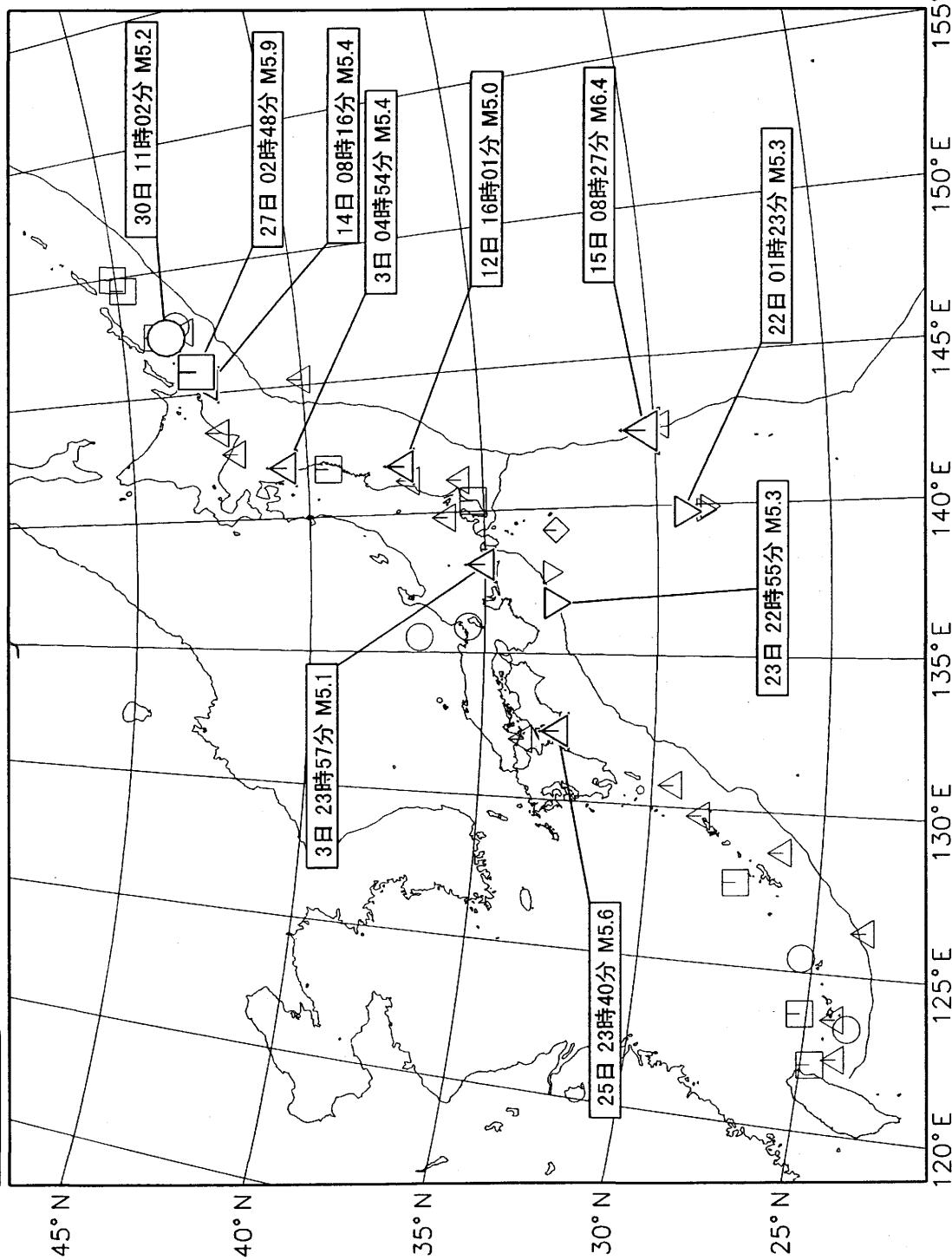
- 1 「地震活動の評価」に記述された地震活動に係わる参考事項。
- 2 「主な地震活動」として記述された地震活動（一年程度以内）に関連する活動。
- 3 評価作業をしたもの、活動が顕著でなく、かつ、通常の活動の範囲内であることから、「地震活動の評価」に記述しなかった活動の状況。

2001年4月の全国の地震活動（マグニチュード4以上）

2001 04 01 00:00 -- 2001 04 30 24:00

N=46

500km

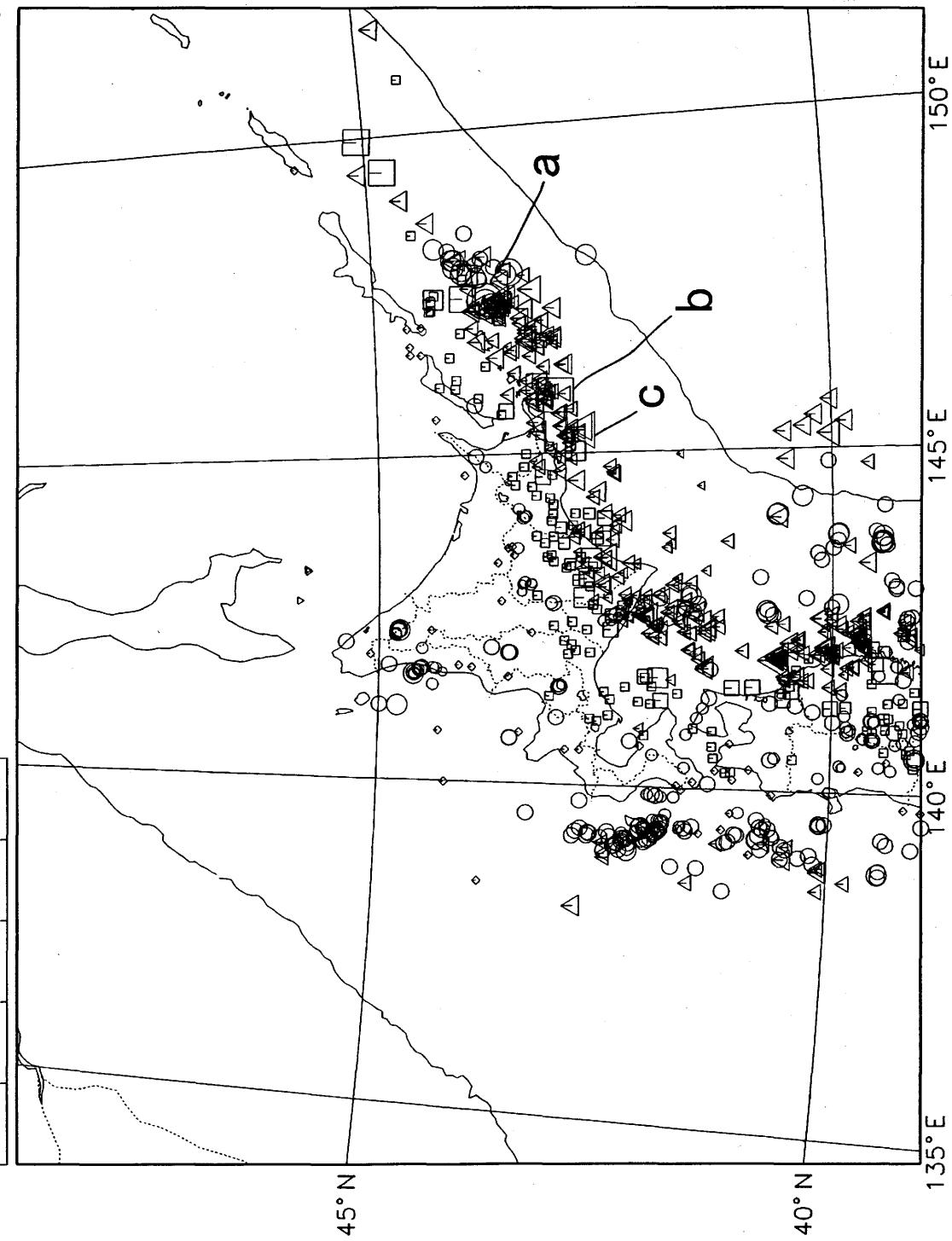


北海道東方沖でM5.2、根室半島南東沖
でM5.9、釧路沖でM5.4の地震があつた。
青森県東方沖でM5.4の地震があつた。
福島県沖でM5.0の地震があつた。
鳥島東方沖でM6.4の地震があつた。
鳥島近海でM5.3の深発地震があつた。
静岡県中部でM5.1の地震があつた。
紀伊半島沖でM5.3の深発地震があつた。
日向灘でM5.6の地震があつた。

北海道地方

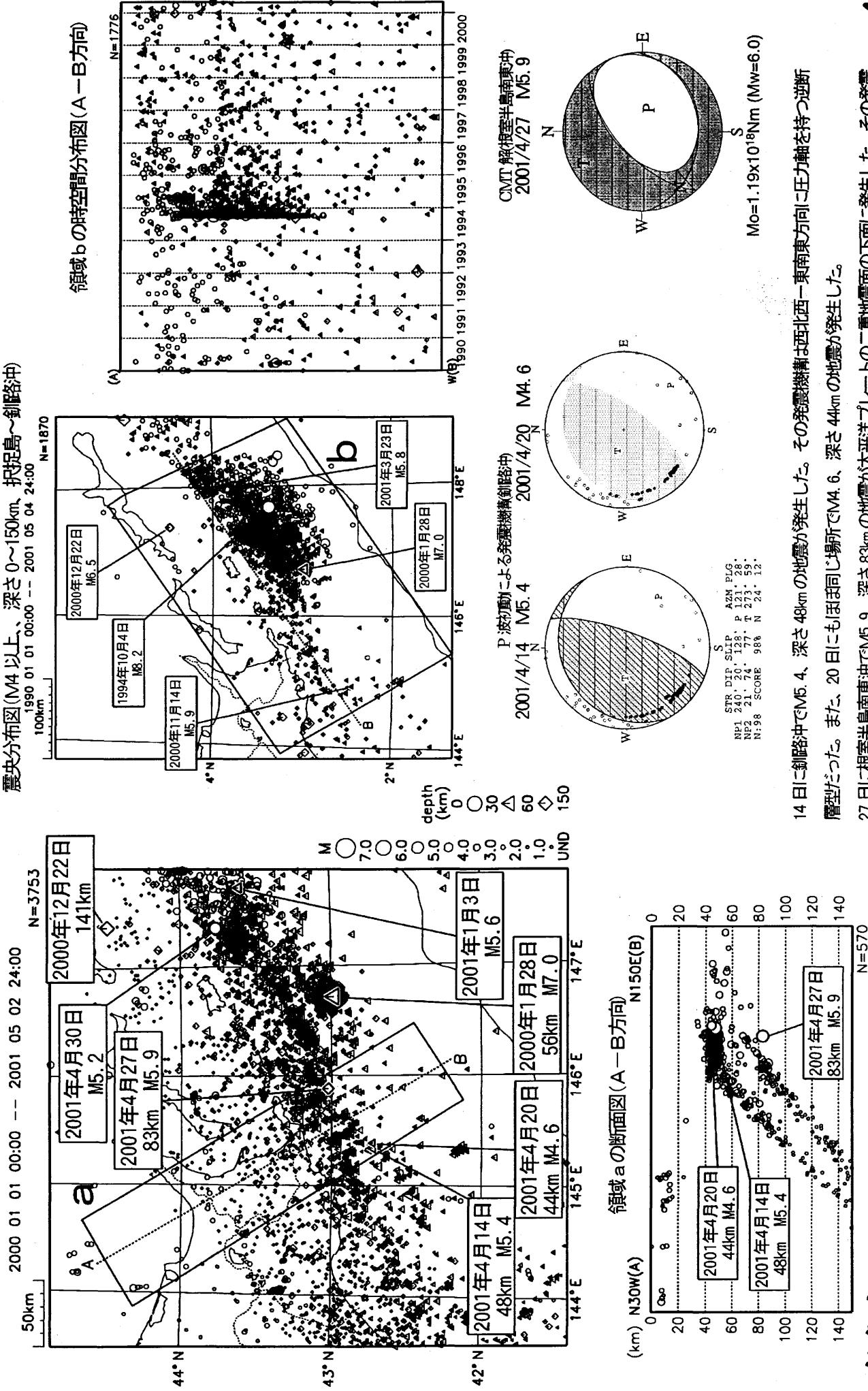
2001 04 01 00:00 -- 2001 04 30 24:00

N=849



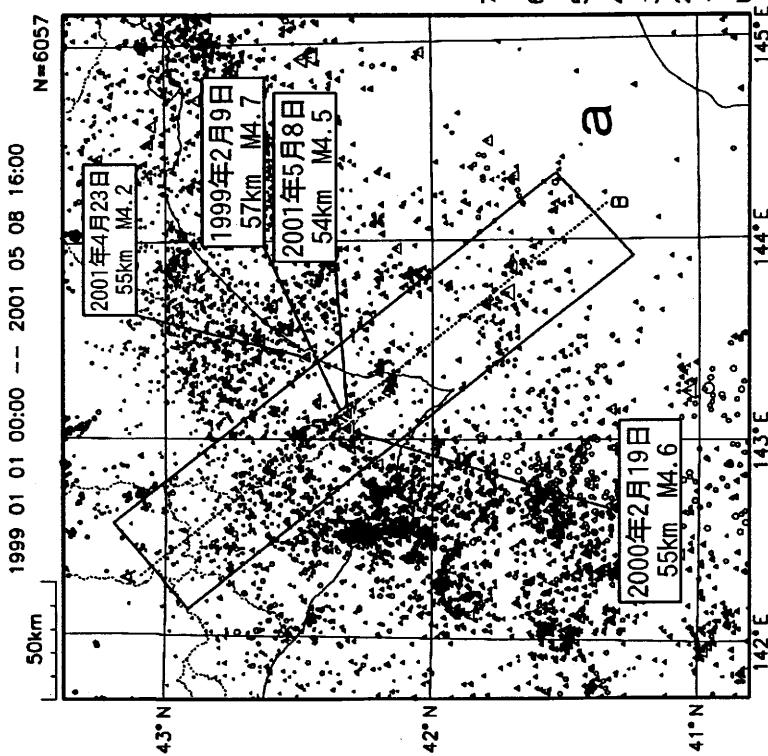
- a) 北海道東方沖で4/30に、太平洋プレートの沈み込みに伴うM5.2の地震があった。
 - b) 根室半島南東沖で4/27に、太平洋プレートの沈み込みに伴うM5.9の地震があった(最大震度4)。
 - c) 釧路沖で4/14に、太平洋プレートの沈み込みに伴うM5.4の地震があった(最大震度3)。
- M なお、期間外であるが、十勝支庁南部で5月8日にM4.5の地震があった(最大震度3)。

釧路沖及び根室半島南東沖の地震活動

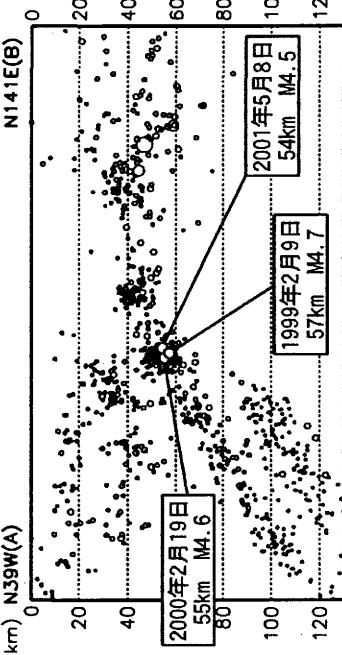


十勝支庁南部の地震活動

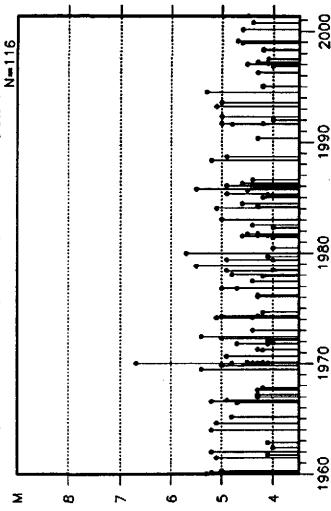
震央分布圖(M4 以上)



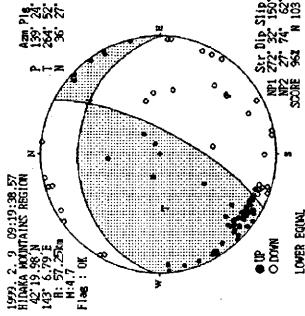
領域aの断面図(A-B方向)



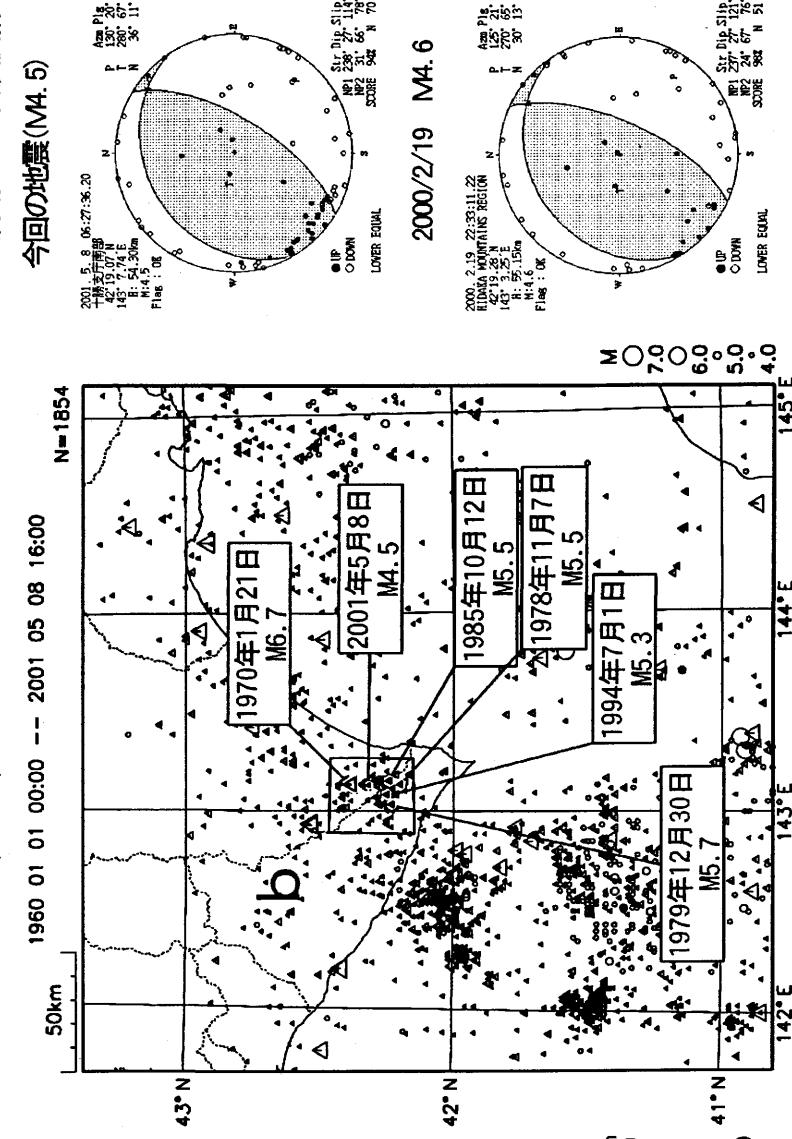
領域或いの地震活動経過図(規制模)



1999/2/9 Ma. 7



P波初動による発震機構



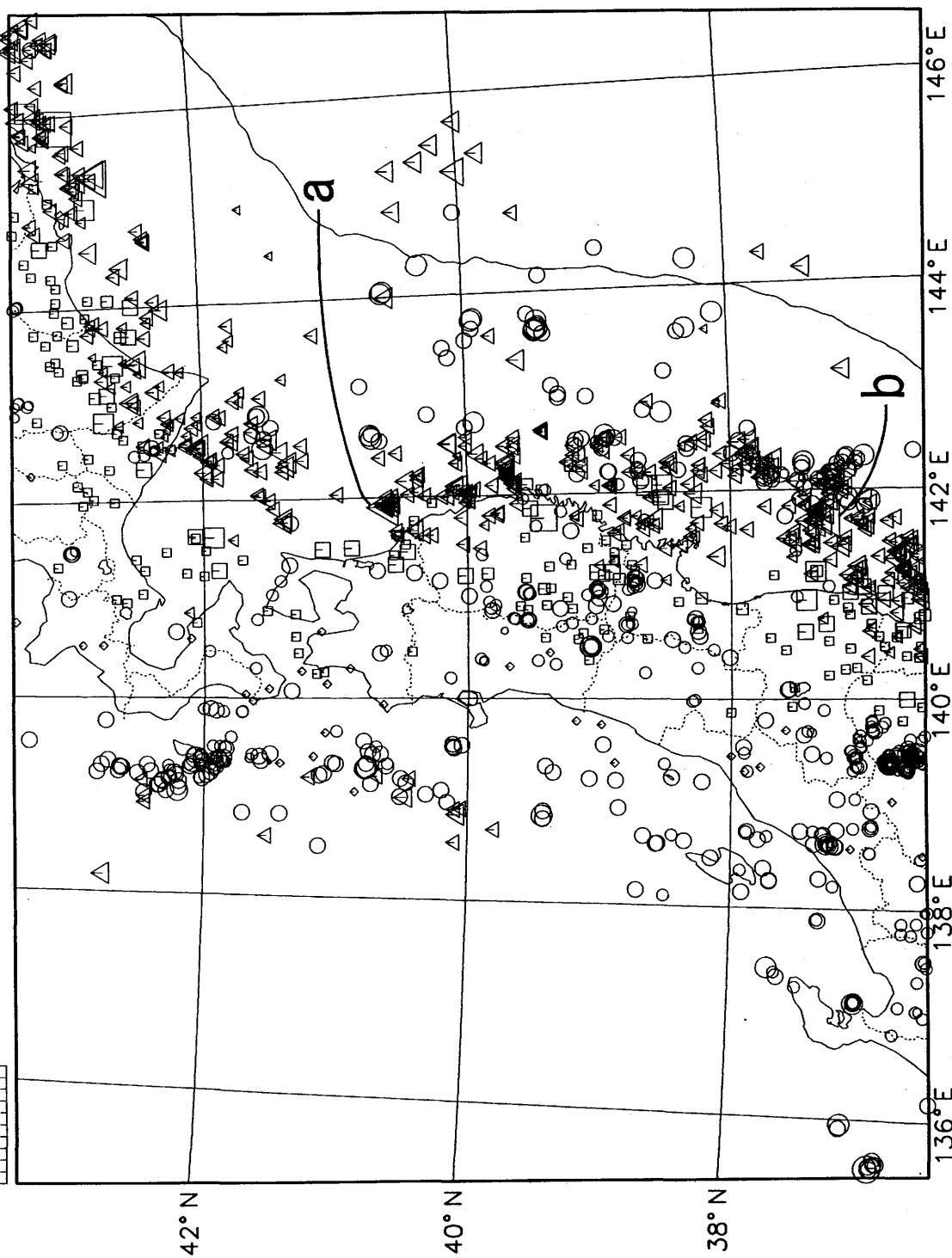
5月8日にM4.5、深さ54kmの地震が発生した。その発震機構は北西—南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。

東北地方

2001 04 01 00:00 -- 2001 04 30 24:00

N=1502

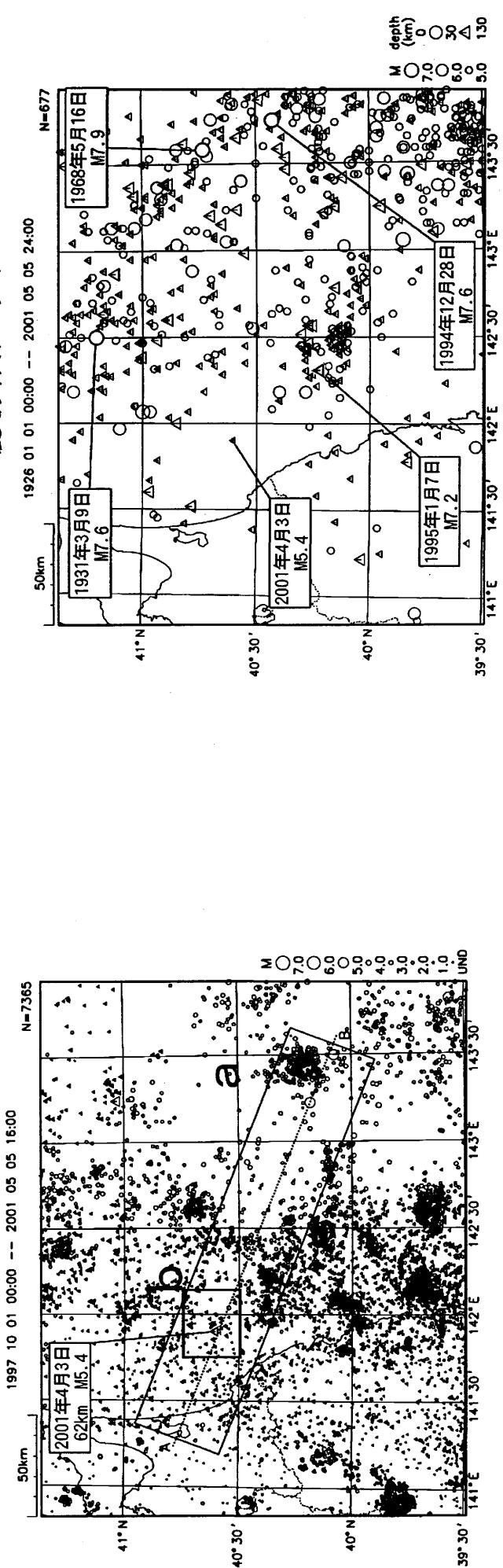
100km



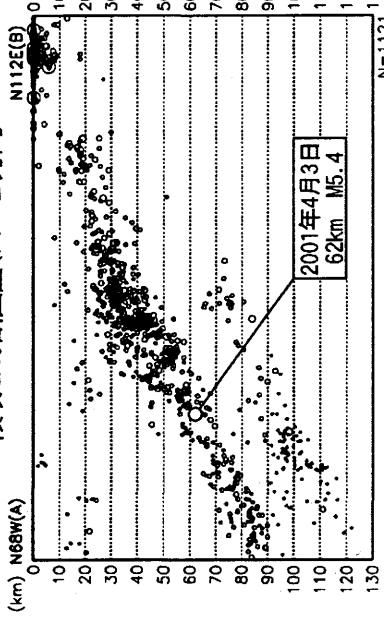
- a) 青森県東方沖で4/3に、太平洋プレートの沈み込みに伴うM5.4の地震があつた(最大震度4)。
 b) 福島県沖で4/12に、太平洋プレートの沈み込みに伴うM5.0の地震があつた。

青森県東方沖の地震活動

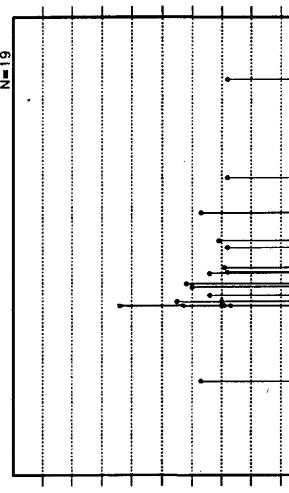
震央分布図(M5 以上)



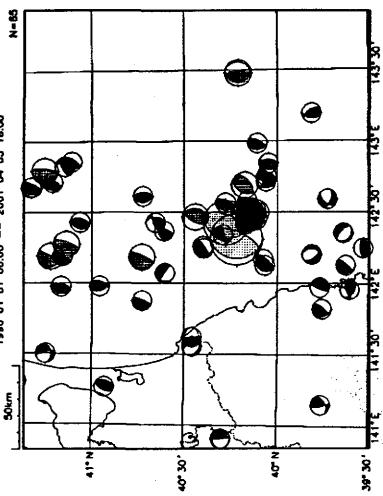
領域 a の断面図 (A-B 方向)



領域或bの地震活動経過図(規範)



主なP波初動による発震機構



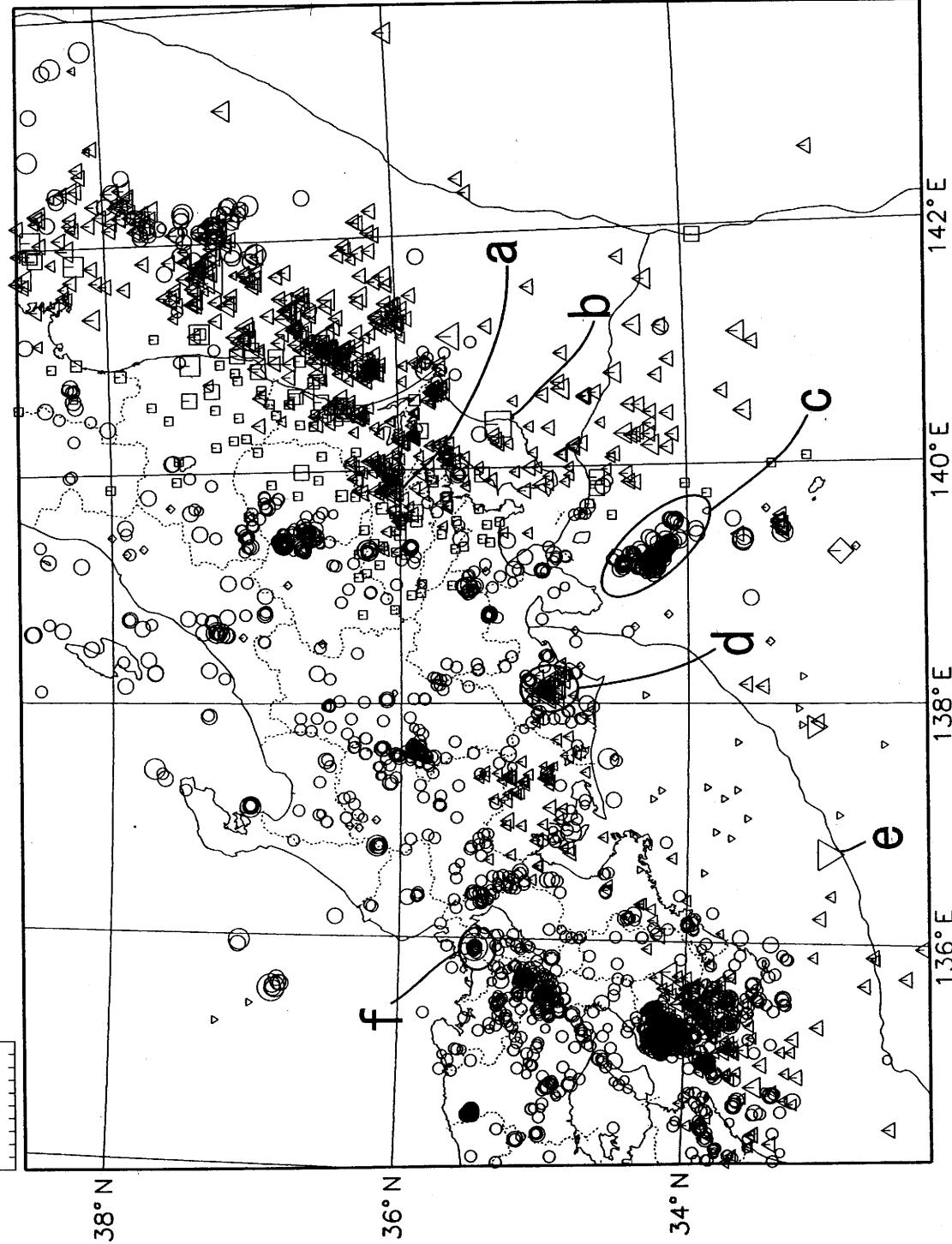
1

3日にM5.4の地震が発生した。余震活動は中旬で
ほぼ収まつた。

関東・中部地方

2001 04 01 00:00 -- 2001 04 30 24:00

100km
N=35'21'



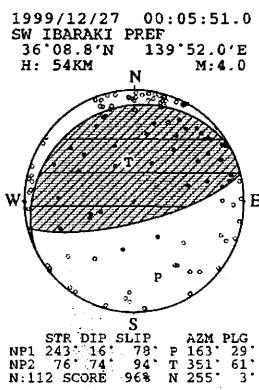
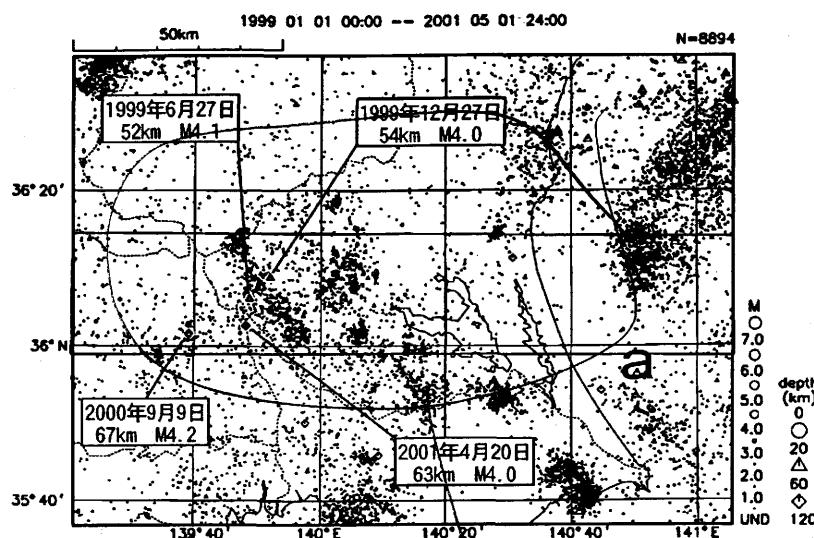
- a) 埼玉県東部[埼玉県南部]で4/20に、フィリピン海プレートの沈み込みに伴うM4.0の地震があつた(最大震度3)。
- b) 千葉県南部で4/10に、太平洋プレートの二重地震面の下面でM4.5の地震が発生した(最大震度3)。
- c) 三宅島付近から新島・神津島付近にかけての地震活動は、低調ながらも続いている。
- d) 静岡県中部で4/3にM5.1の地震が発生した(最大震度5強)。また、4/4に同地域でM4.0の余震が発生した。
- e) 紀伊半島沖で4/23にM5.3の深発地震があつた。
- f) 福井・滋賀県境[福井県嶺南地方]で4/16にM4.0の地震があつた(最大震度3)。

[]は気象庁が情報発表に用いた震央地名である。

埼玉県東部の地震活動

1999/06/27 19:50:14.2
SW IBARAKI PREF
36°06'1"N 139°48.8"E
H: 51KM M: 4.1

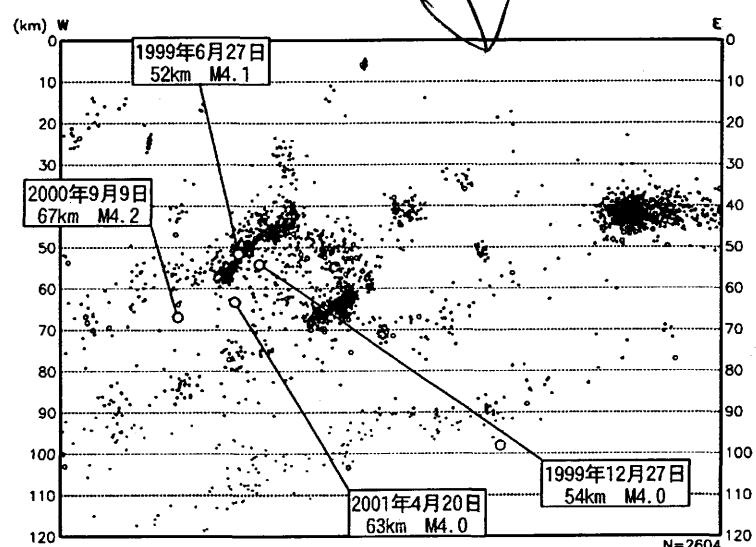
STR DIP SLIP AZM PLG.
NP1 247° 35' 108° P 144° 11°
NP2 45° 57' 78° T 281° 75°
N:135 SCORE 90% N 52° 10'



領域aの断面図(東西方向)

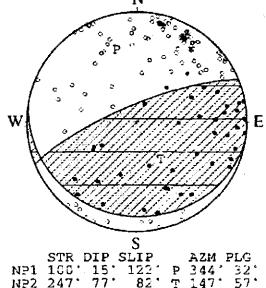
2000/09/09 20:48:44.0
EASTERN SAITAMA PREF
36°01.6'N 139°39.1"E
H: 66KM M: 4.2

STR DIP SLIP AZM PLG.
NP1 130° 25° 165° P 345° 34°
NP2 234° 83° 65° T 119° 46°
N:166 SCORE 98% N 237° 24°

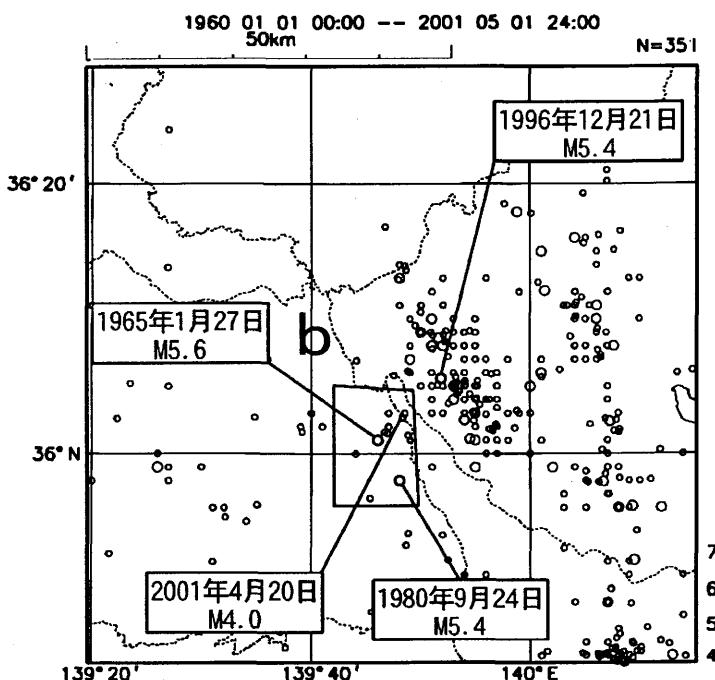


今回の地震

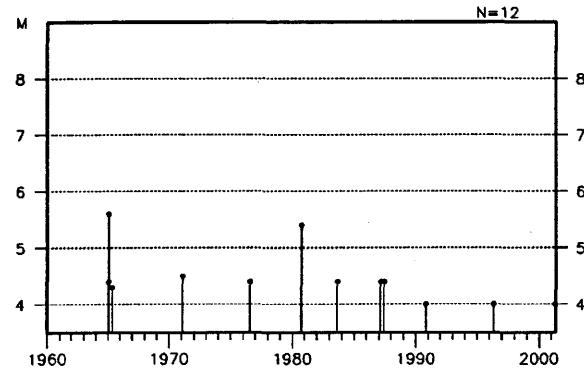
2001/04/20 01:44:51.0
SW IBARAKI PREF
36°02.6'N 139°48.2"E
H: 63KM M: 4.0



震央分布図(M4以上)

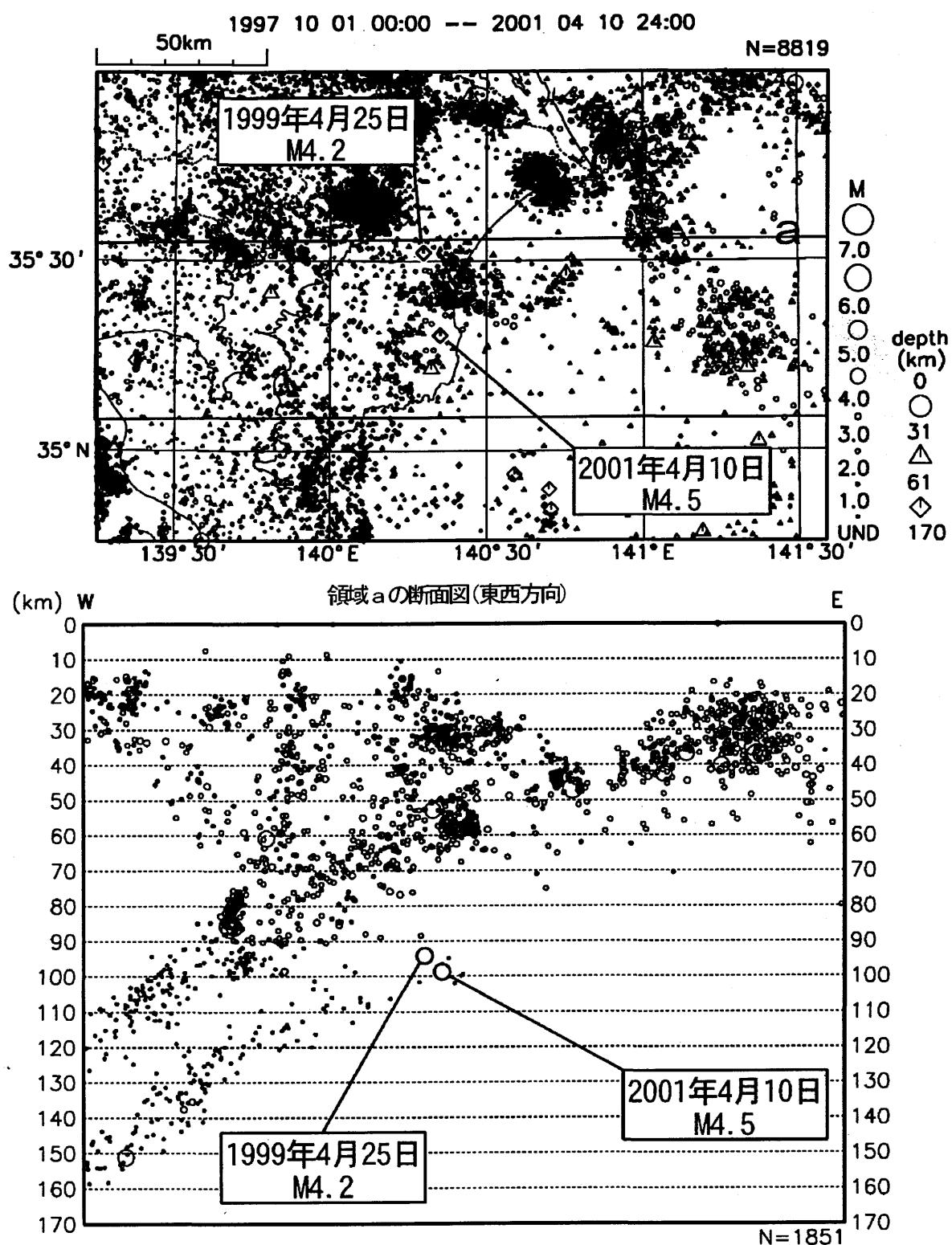


領域bの地震活動経過図(規模)



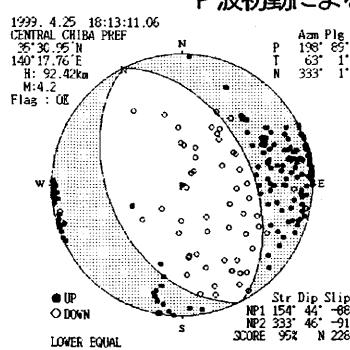
20日にM4.0、深さ 63km の地震が
フィリピン海プレート内で発生し
た。

千葉県南部の地震活動(震源再計算(距離ウェイト考慮した震源計算))



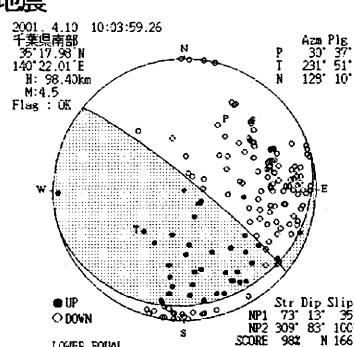
1999/4/25

M4.2



今回の地震

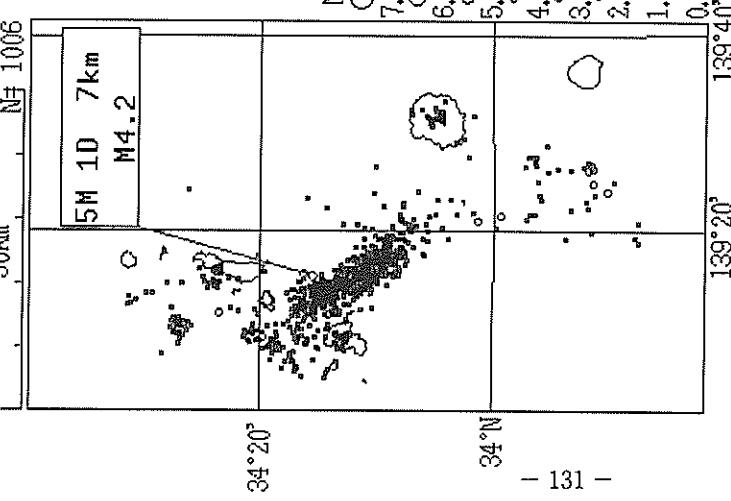
M4.5



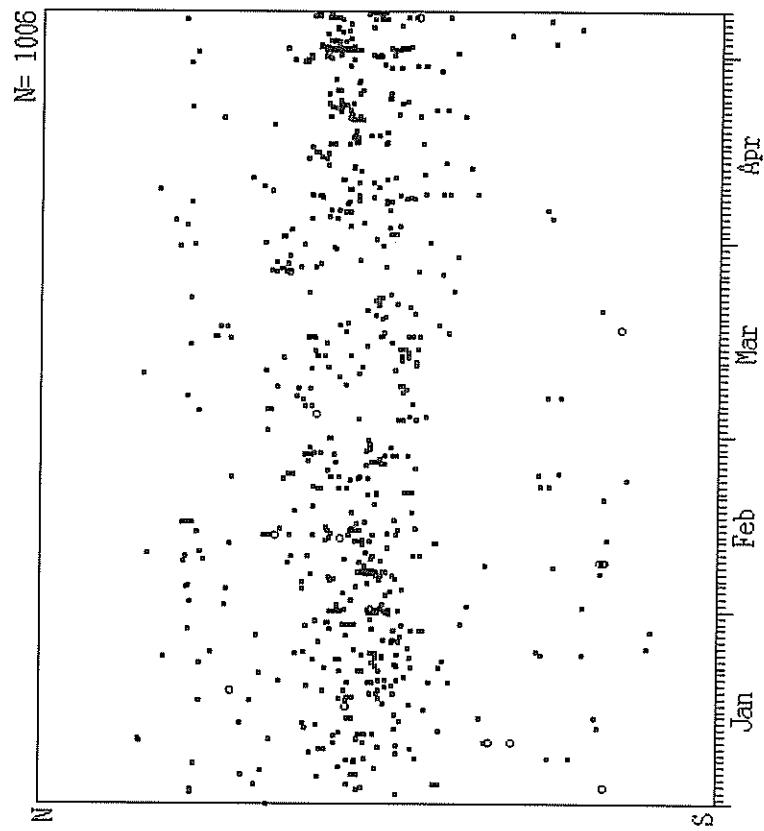
10日にM4.5、深さ 98km の地震が太平洋プレートの二重地震面の下面に発生した。

三宅島付近から新島・神津島付近にかけての地震活動(最近の活動)

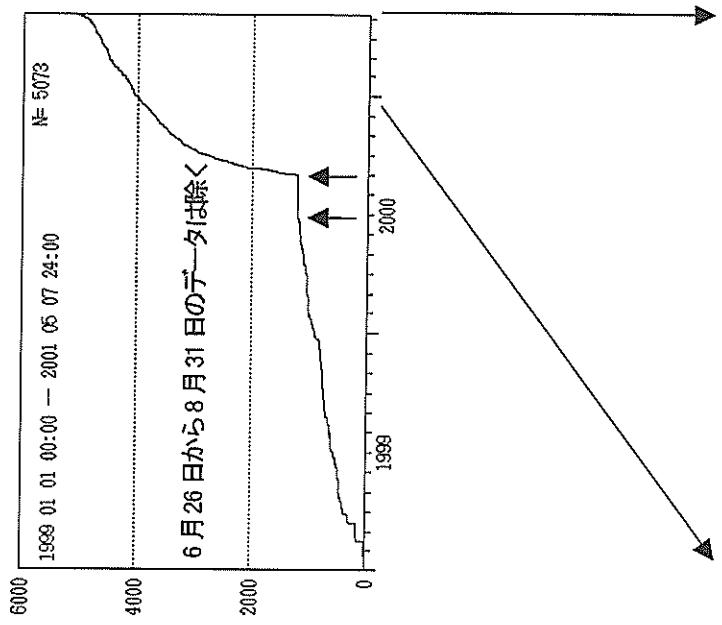
震央分布図(1月以降)
2001 01 01 00:00 — 2001 05 07 24:00
N= 1006



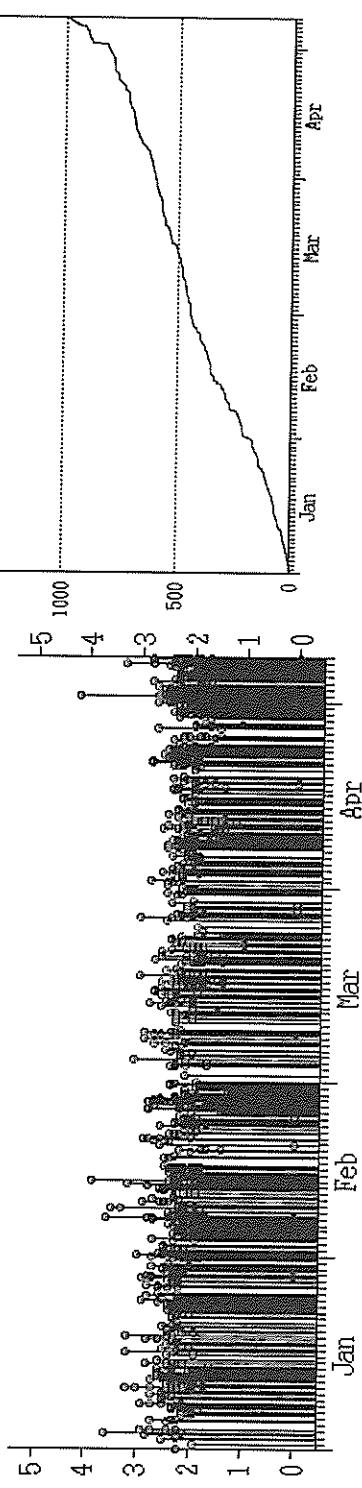
時空間分布図(南北方向)



地震回数推算図(9月以降と今回の活動以前の比較)
1989 01 01 00:00 — 2001 05 07 24:00 N= 5073



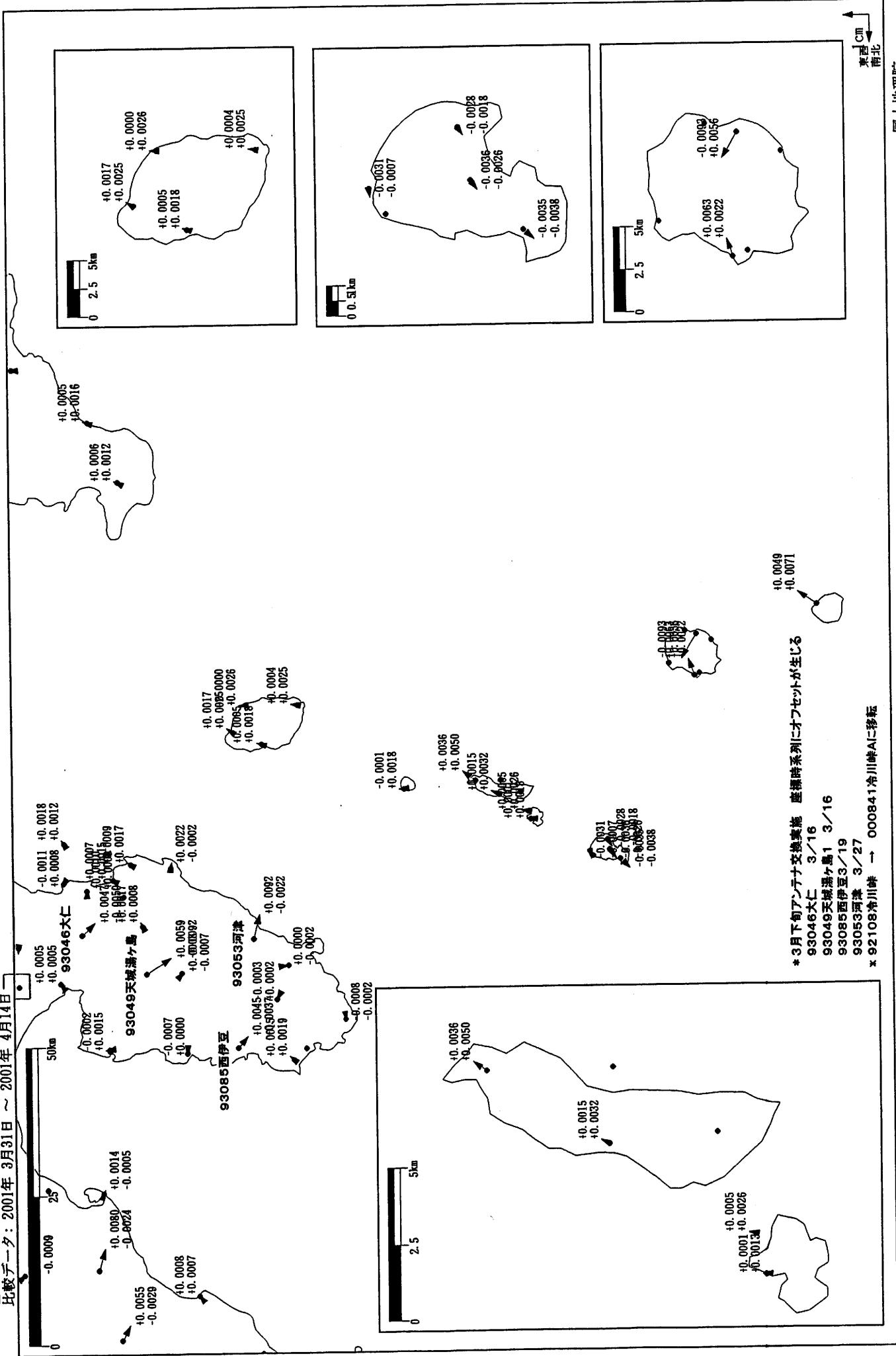
地震活動経過図(現地)



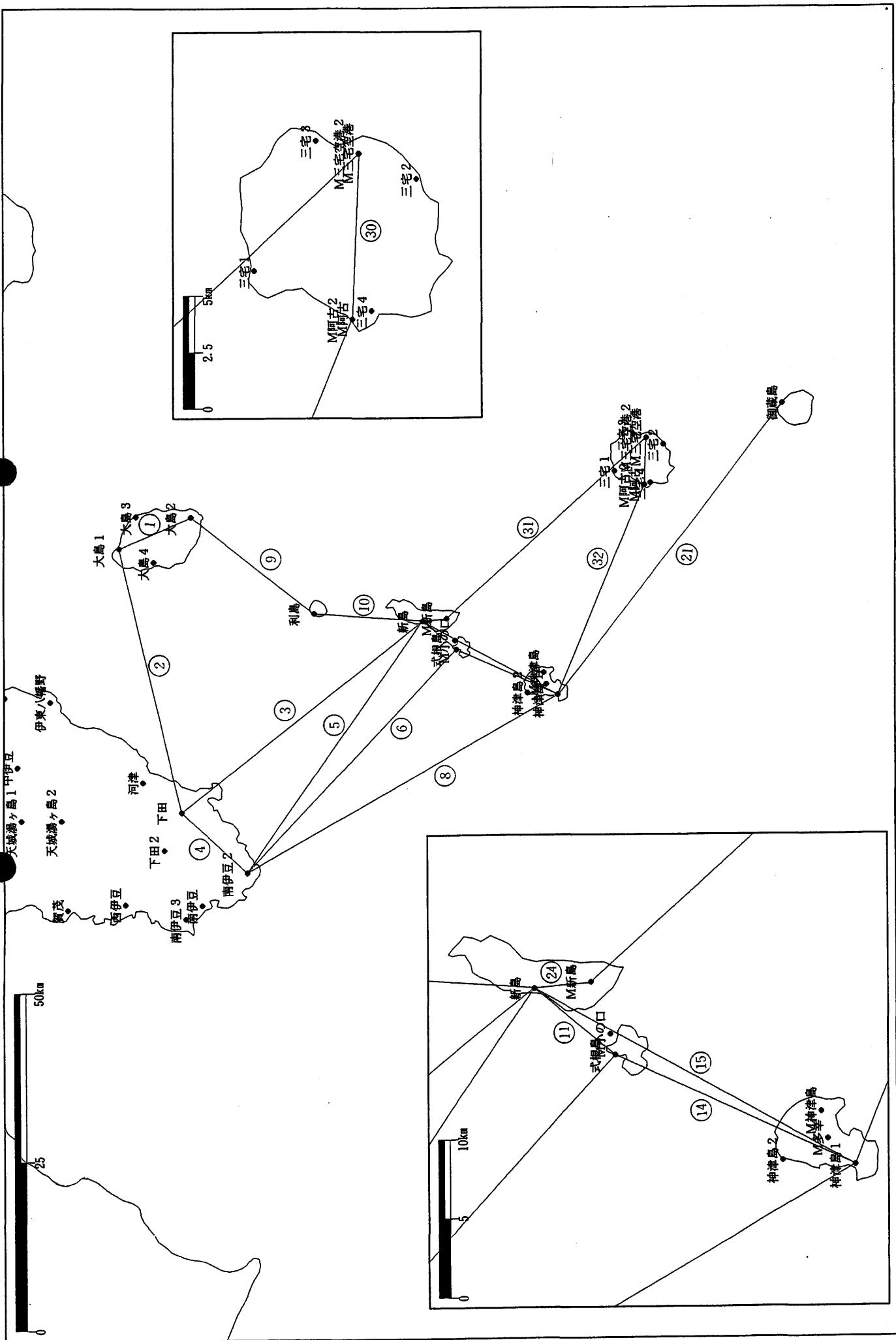
4月中にはM3以上の地震はなかったが、
5月1日に神津島の東約10kmでM4.2
の地震が発生した。

ベクトル図(水平)

比較手法：平均値
基準データ：2001年2月28日～2001年3月14日
比較データ：2001年3月31日～2001年4月14日



基線図



基線長変化グラフ

⑮

(m) 93057 [新島] -> 93058 [神津島1]

基準値 : 22146.565 m

斜距離



静岡県中部の地震活動

2001 04 01 00:00 -- 2001 05 08 24:00

N=190

35°20' N

時空震分布図(南北方向)

N=186

S

May

Apr

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

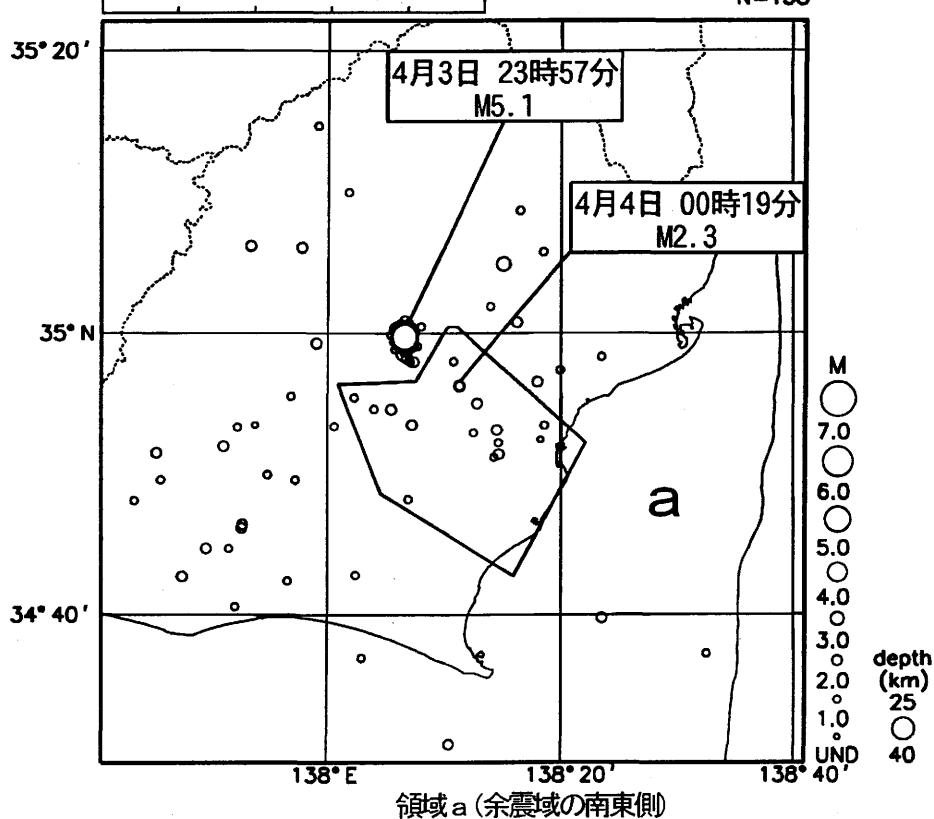
静岡県中部の地震活動(余震域周辺の地震活動の比較)

震央分布図(深さ 25km~40km)

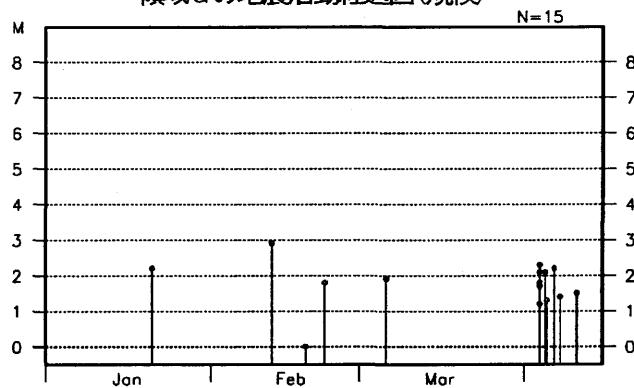
2001.01.01 00:00 -- 2001.04.15 24:00

50km

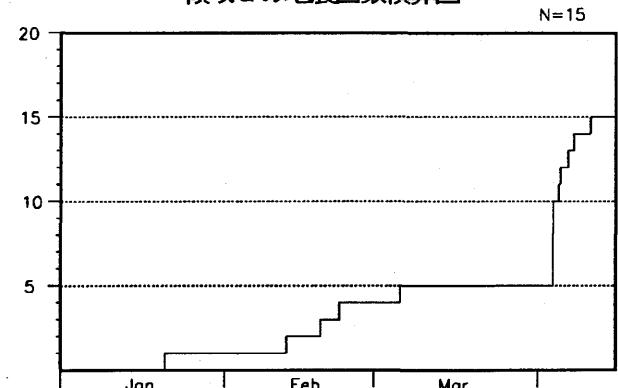
N=158



領域 a の地震活動経過図(規模)

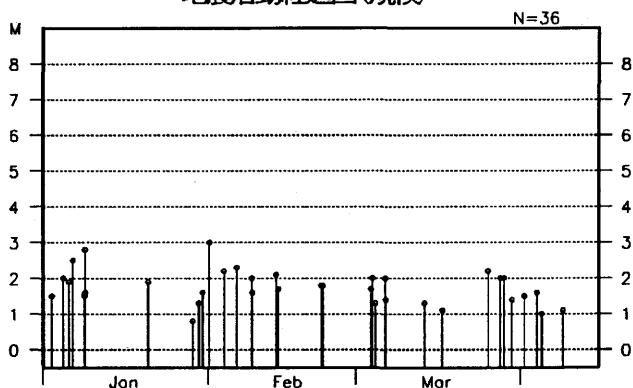


領域 a の地震回数積算図

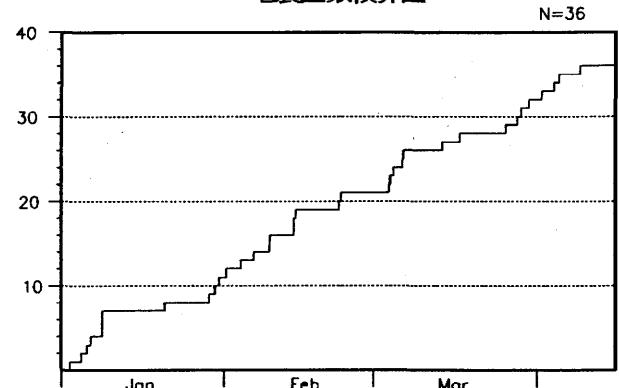


領域 a 以外の地域(余震域を除く)

地震活動経過図(規模)

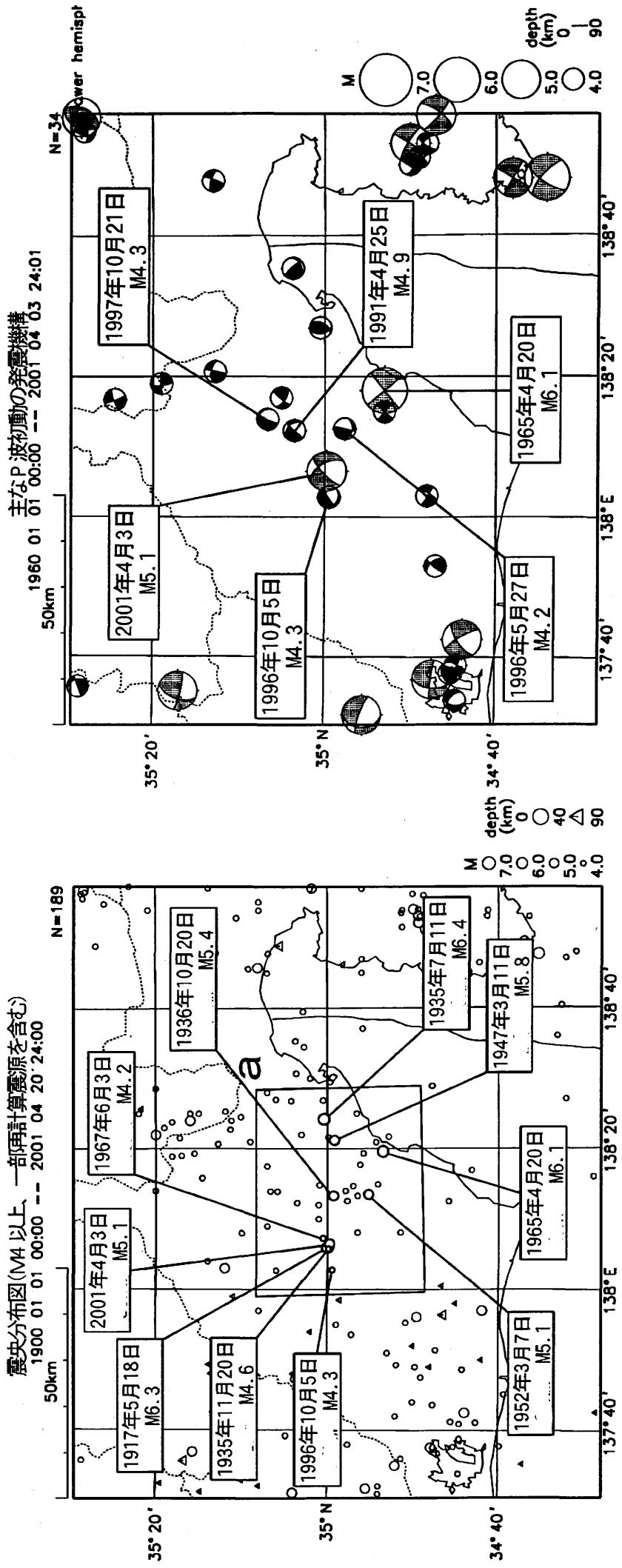


地震回数積算図



3日に静岡県中部でM5.1の地震の発生直後から、本震の南東側で地震が増加した。

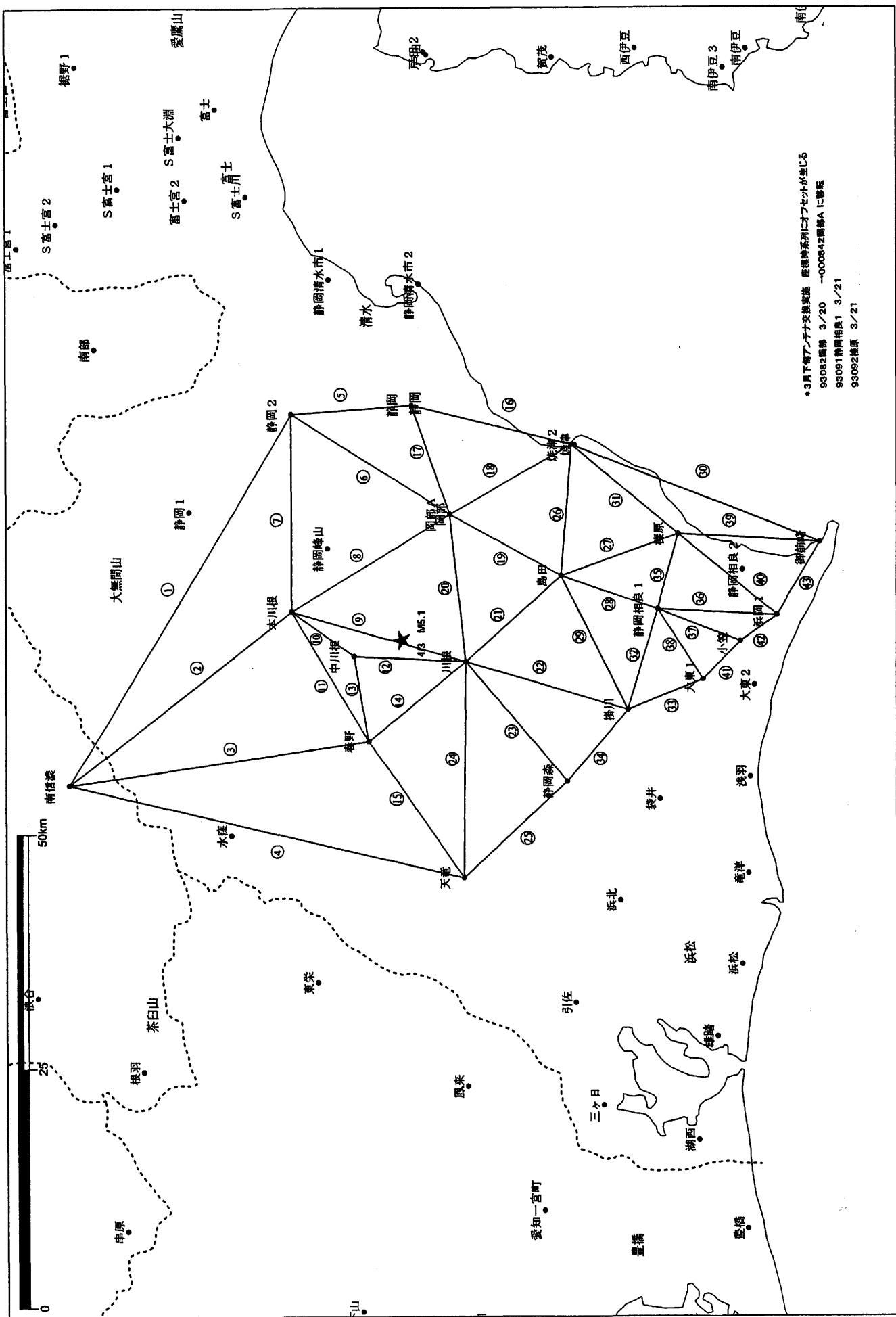
静岡県中部の地震活動(過去の地震活動と主な発震機構)



今回の地震(4月3日、M5.1)付近では、1917年にM6.3、1935年にM4.6と1967年にM4.2の地震が発生している。また、1996年10月にM4.3(川根の地震)が今回の地震すぐ西側で発生している。1917年の地震は震源決定の方法が異なっている。

1925年以前の地震は宇津(1982、1985)を引用した。

静岡県中部GPS連続観測基線図



期間：2001年4月1日～2001年4月13日

基線長変化グラフ

(3/11)

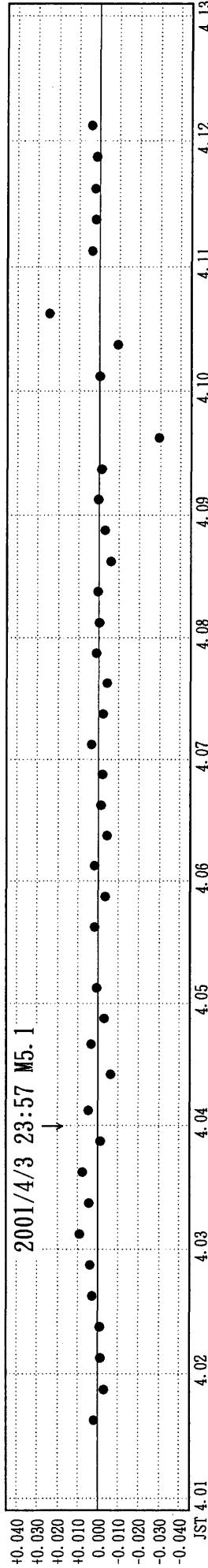
(m) 93079 [本川根] -> 93088 [川根] 斜距離

⑨

2001/4/3 23:57 M5. 1

↓

↑ 伸
び
↓ 缶
み



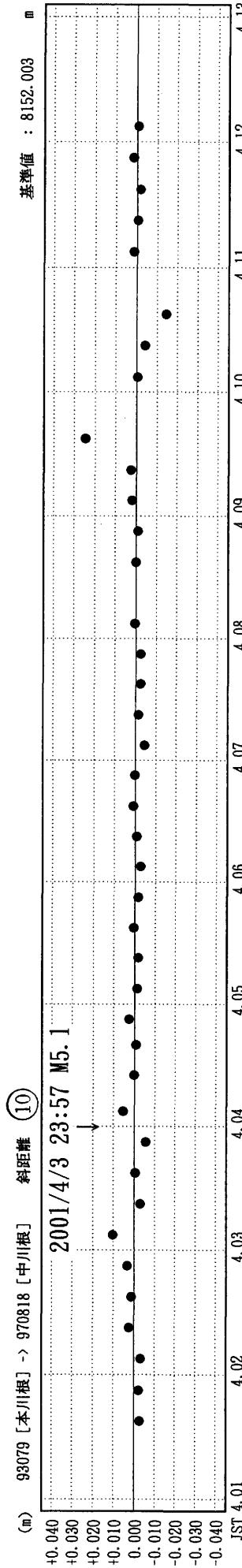
(m) 93079 [本川根] -> 970818 [中川根] 斜距離

⑩

2001/4/3 23:57 M5. 1

↓

↑ 基準値 : 19015.162 m
↓



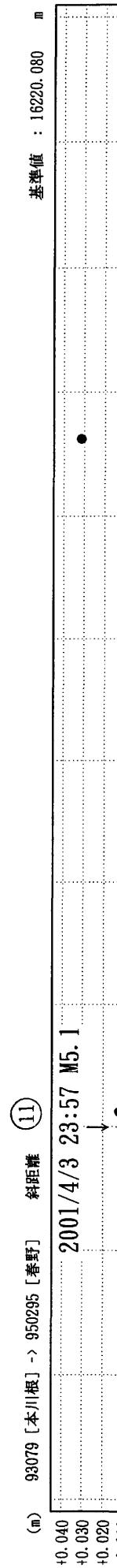
(m) 93079 [本川根] -> 950295 [春野] 斜距離

⑪

2001/4/3 23:57 M5. 1

↓

↑ 基準値 : 8152.003 m
↓



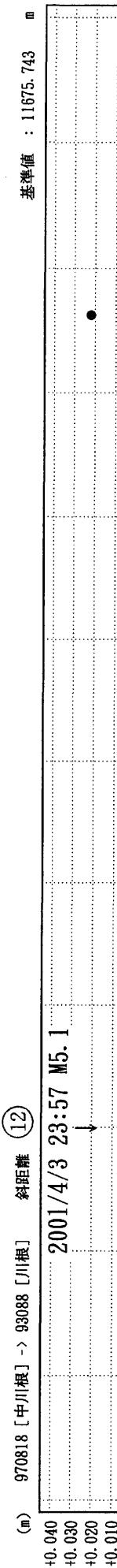
(m) 970818 [中川根] -> 93088 [川根] 斜距離

⑫

2001/4/3 23:57 M5. 1

↓

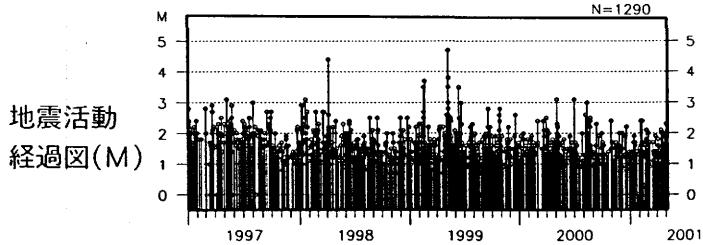
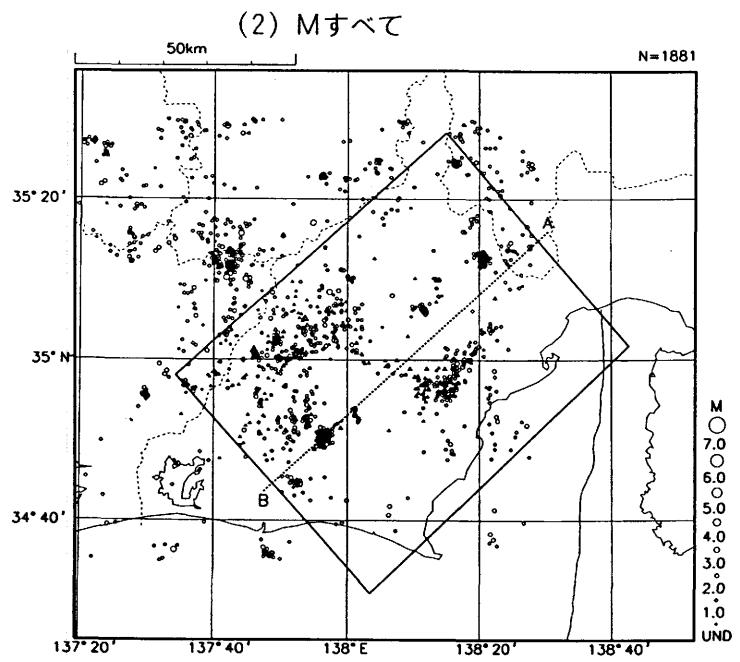
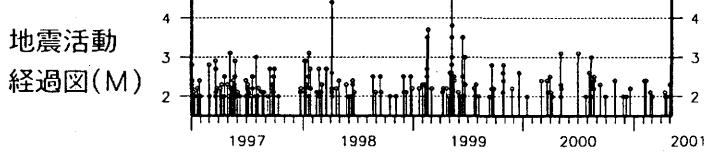
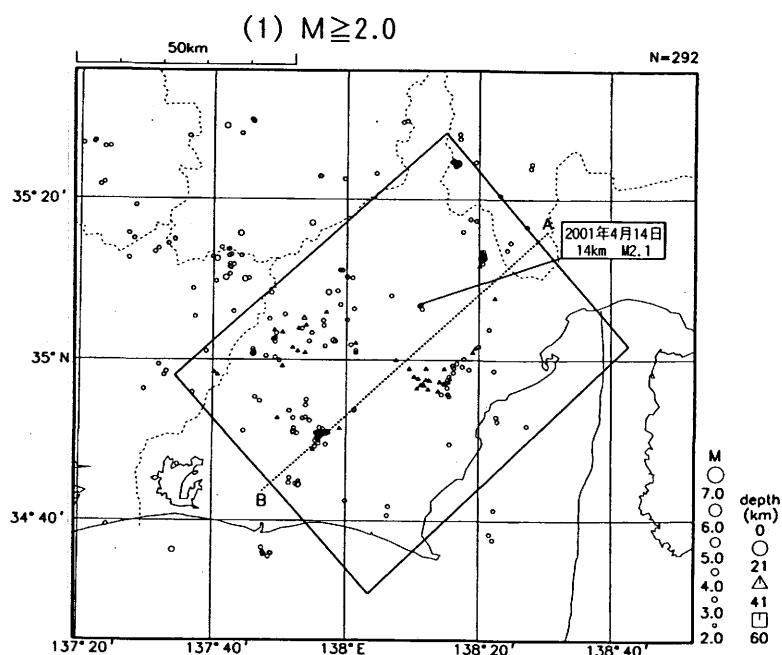
↑ 基準値 : 16220.080 m
↓



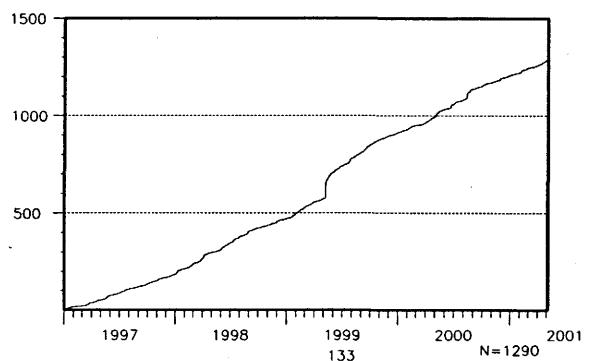
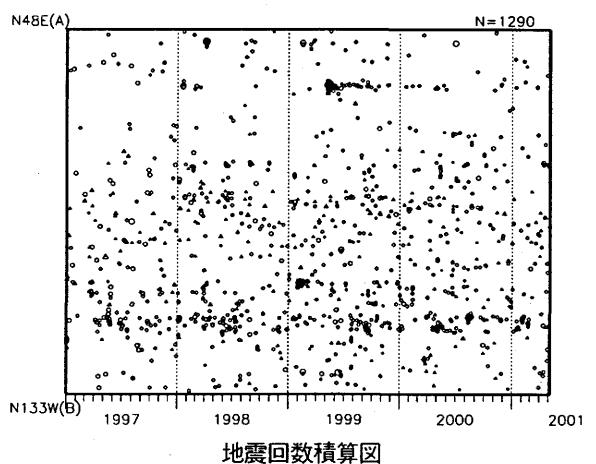
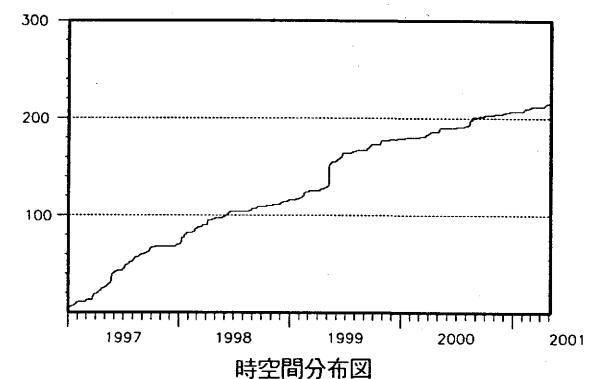
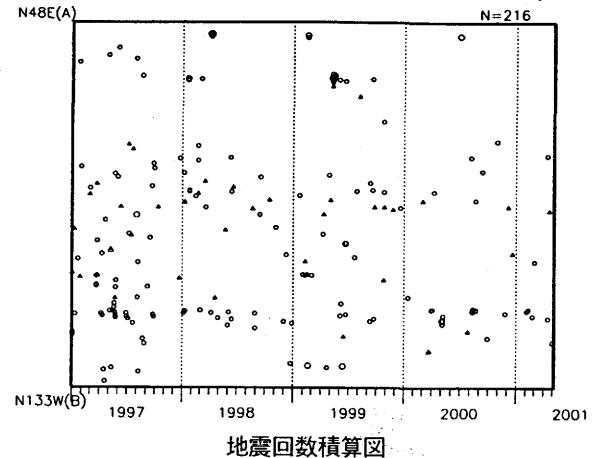
固着域周辺の地震活動（地殻内 1997年以降）

1997年1月1日～2001年5月5日

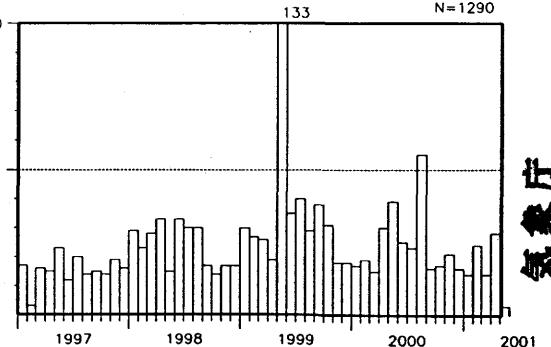
時空間分布図



地殻内ではM2以上の地震は最近少ない。すべての地震の回数で見ると、定常的に発生している。4月中旬から静岡県中部でM2.1を最大とする小規模な活動があった。



地殻内
月別地震回数



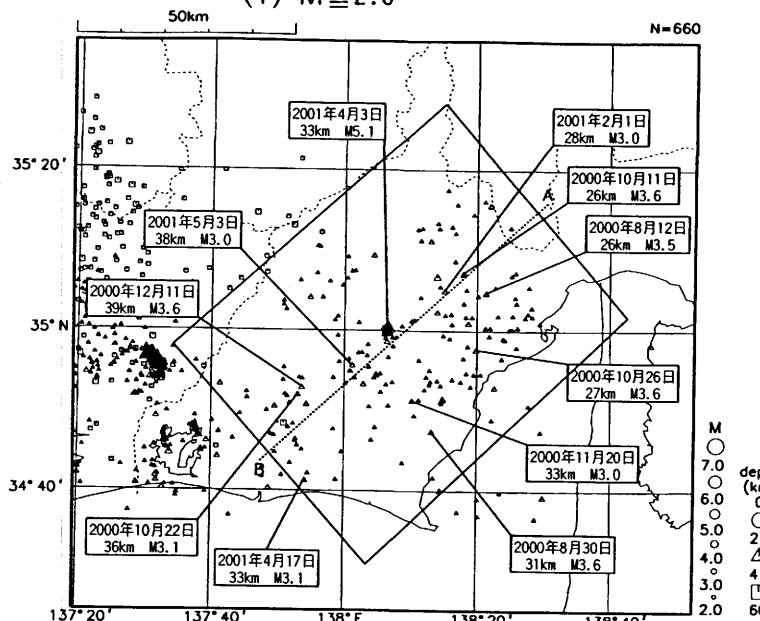
固着域周辺の地震活動（フィリピン海スラブ内 1997年以降）

1997年1月1日～2001年5月5日

時空間分布図

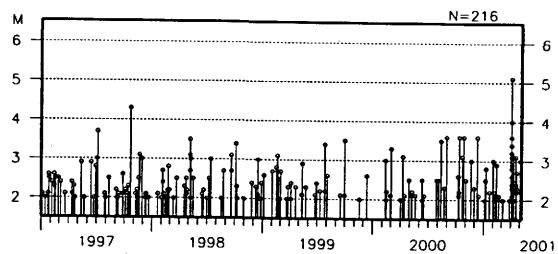
15

(1) $M \geq 2.0$

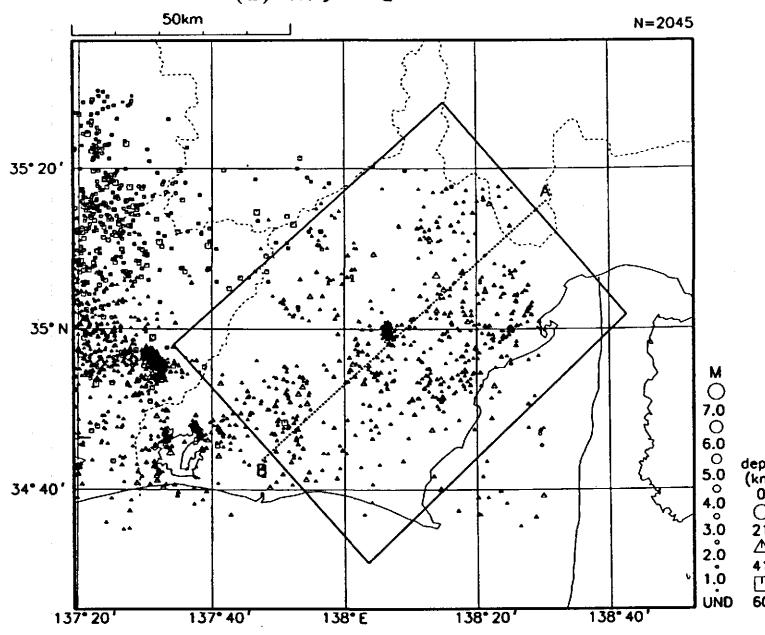


地震活動

経過図(M)

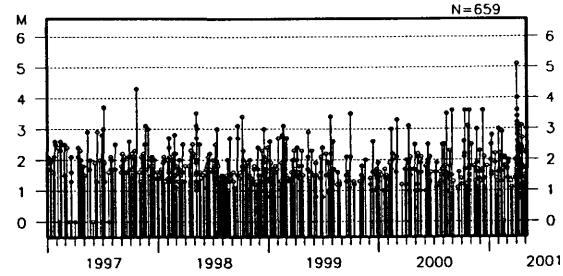


(2) M すべて



地震活動

経過図(M)



スラブ内では1999年後半、M2以上でも、Mすべてで見ても地震が少なかったが、2000年半ば以後、増加傾向となった。昨年8月以降は、M3クラスの地震が増えているが、4月3日に静岡県中部でM5.1の地震が発生した。

N48E(A)

N133W(B)

N=216

depth (km)

100

200

300

地震回数積算図

時空間分布図

N48E(A)

N=659

N133W(B)

N=659

地震回数積算図

800

600

400

200

0

40

30

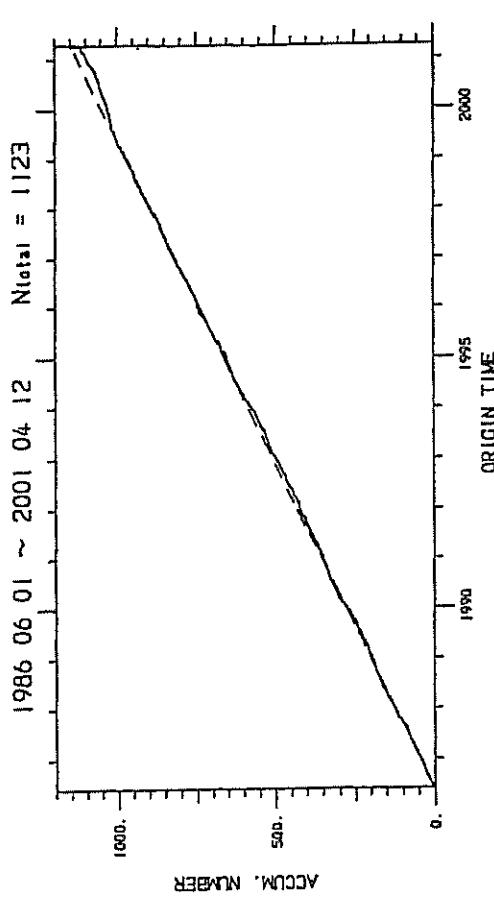
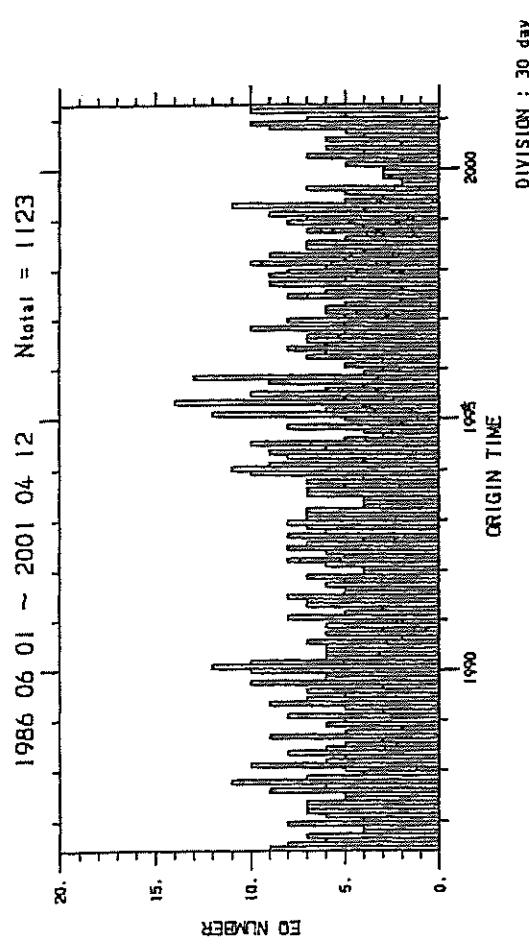
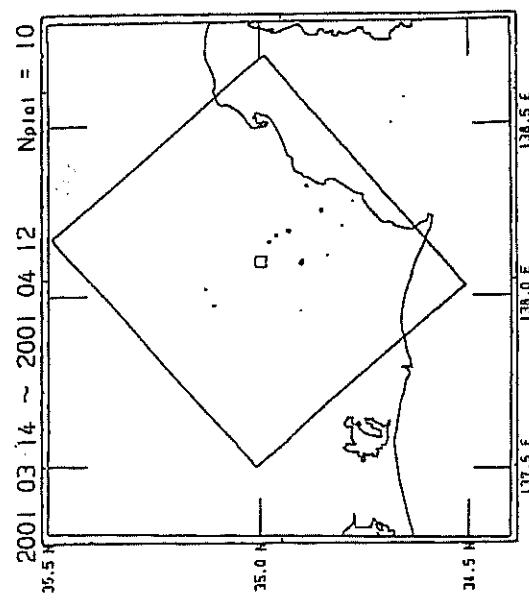
20

10

0

127

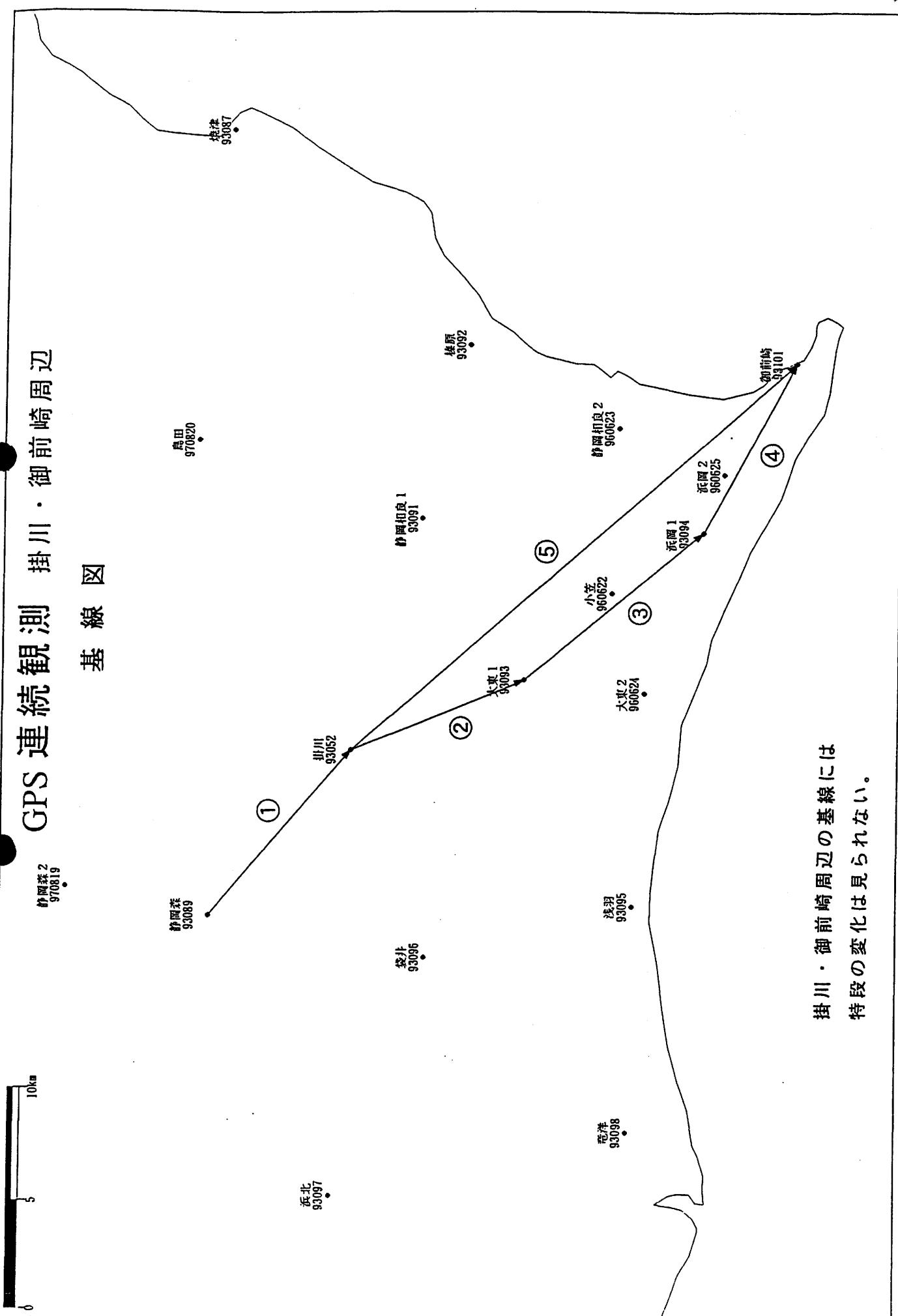
スラブ内
月別地震回数



下盤（推定固定域直下フィリピン海スラブ内）の30日毎の地震回数(11.5以上、declustering後)。
2001/3/14-2001/4/12の最新区間の個数は10個。

GPS 連続観測 掛川・御前崎周辺

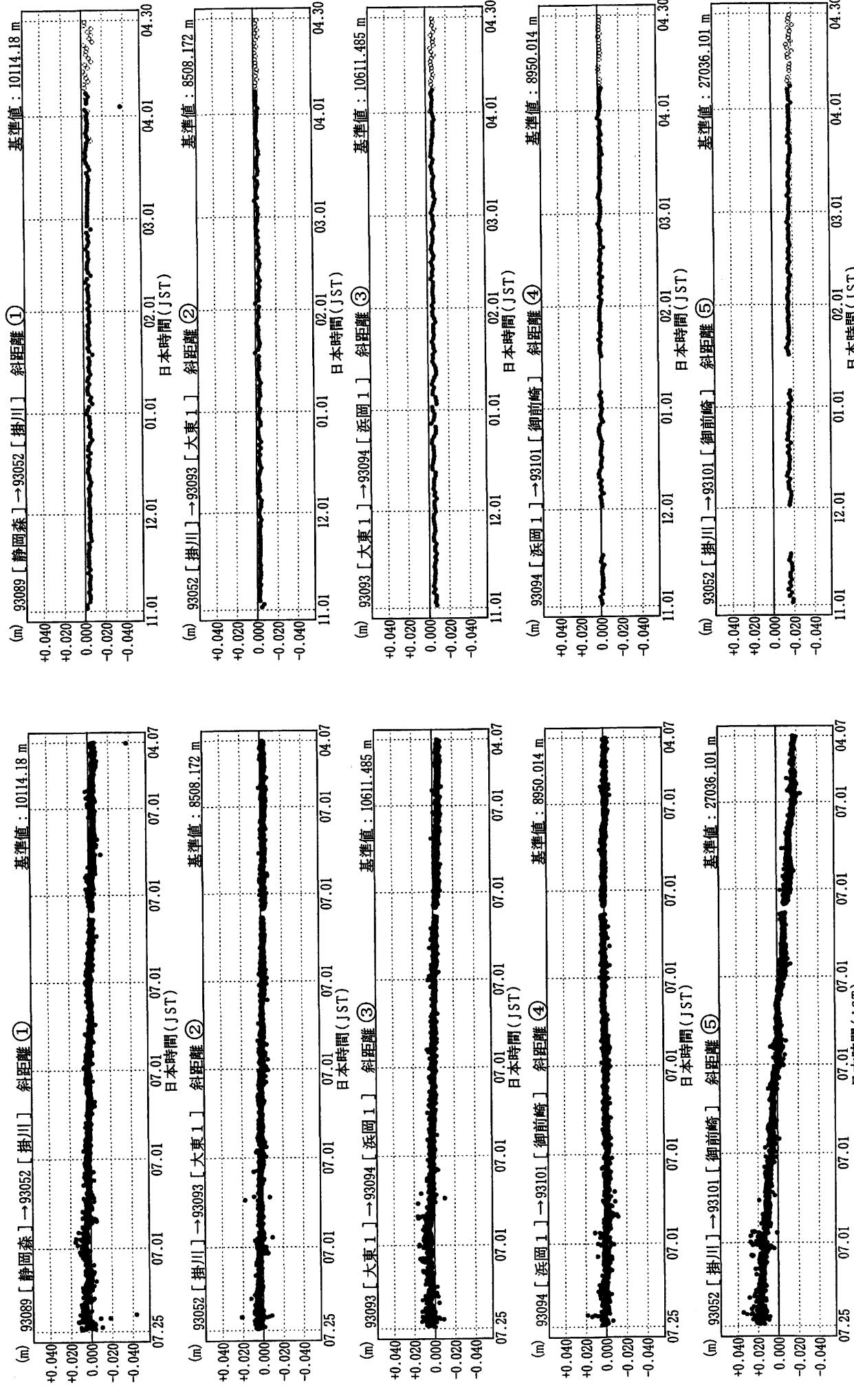
基線図



掛川・御前崎周辺の基線には
特段の変化は見られない。

基線長変化グラフ

期間:2000年11月01日～2001年04月30日
座標系:WGS84



1998年1月1日のデータから解析プログラムの設定変更

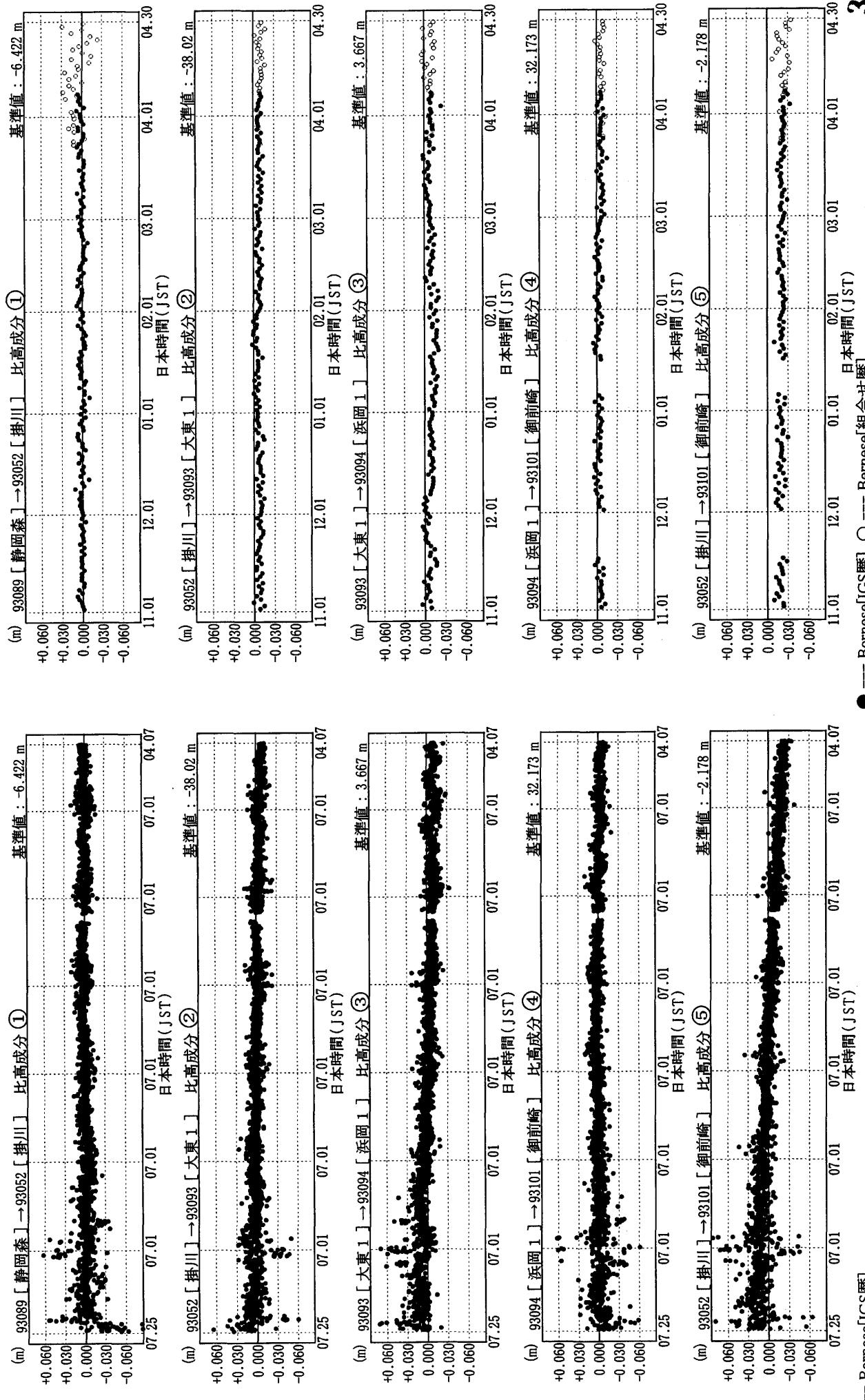
● —— Bernese[IGS]

国土交通省 國土地理院

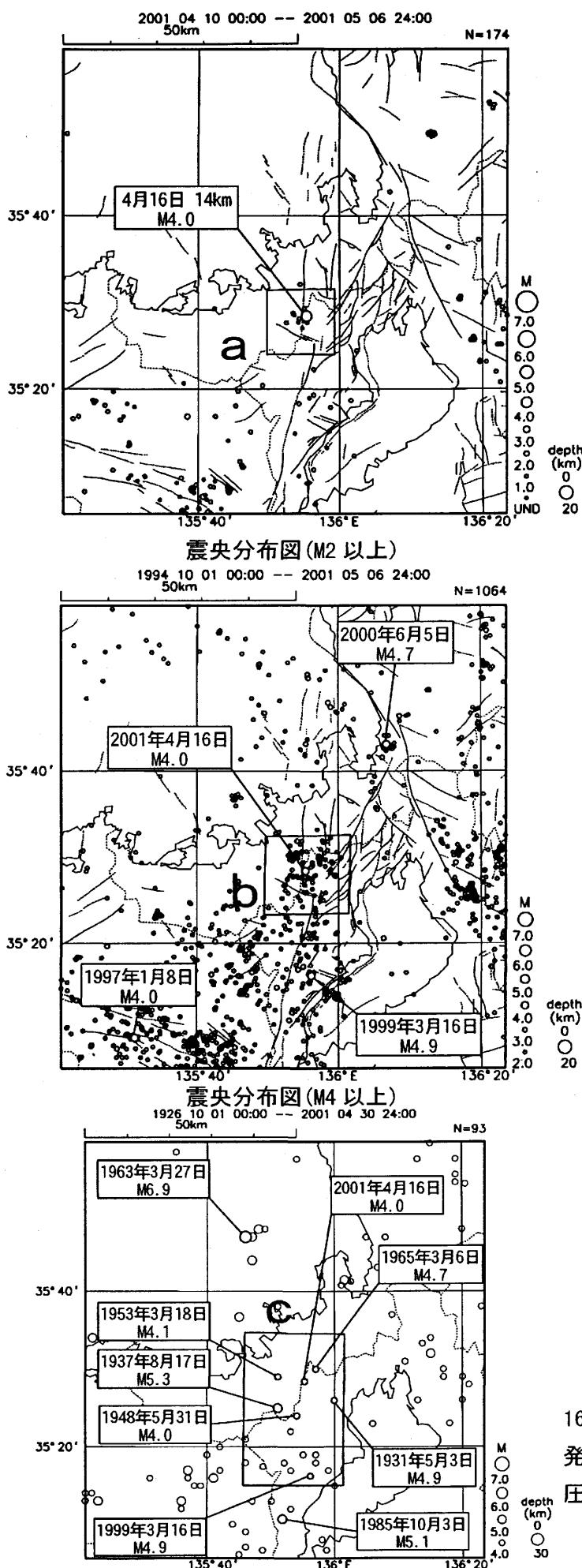
比高変化グラフ

期間: 1994年07月25日～2001年04月07日
座標系: WGS84

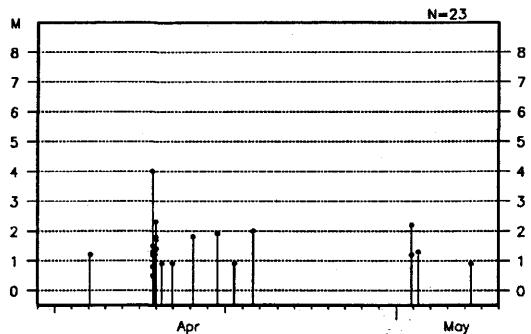
期間: 2000年11月01日～2001年04月30日
座標系: WGS84



福井・滋賀県境の地震活動

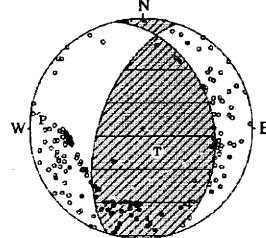


領域 a の地震活動経過図 (規模)



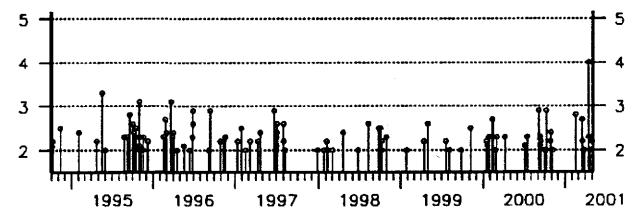
P 波初動による発震機構

2001/04/16 19:05:18.1
WESTERN FUKUI PREF
35°28.4'N 135°55.2'E
H: 14KM M: 4.0

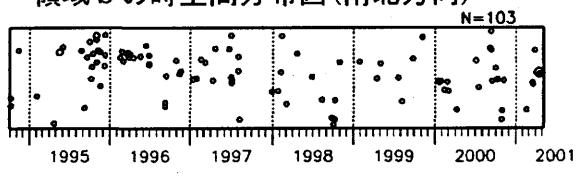


STR DIP SLIP AZM PLG
NP1 346° 36° 53° P 275° 12°
NP2 198° 59° 108° T 148° 70°
H: 180 SCORE 92% N 8° 15'

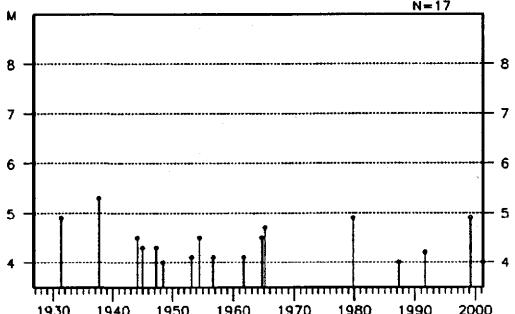
領域 b の地震活動経過図 (規模)



領域 b の時空間分布図 (南北方向)

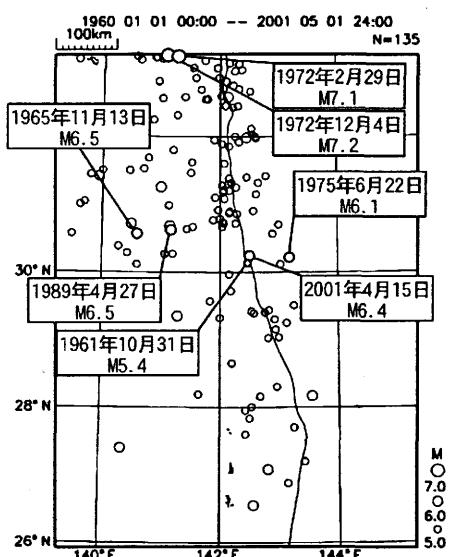
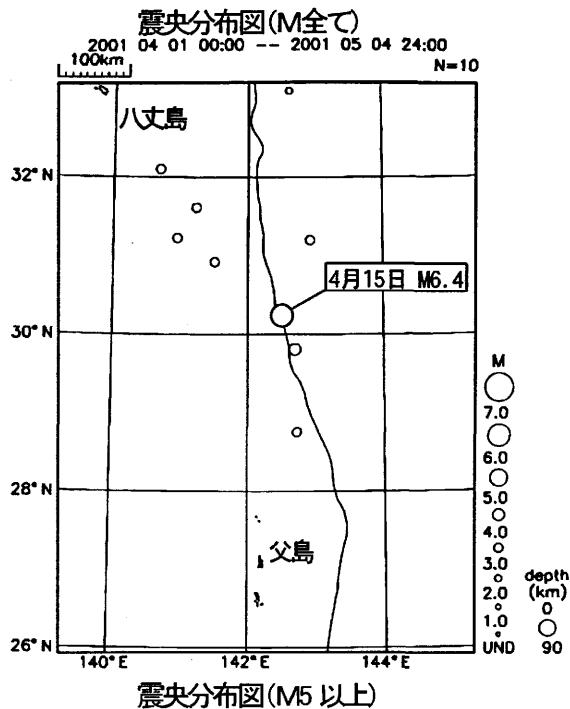


領域 c の地震活動経過図 (規模)

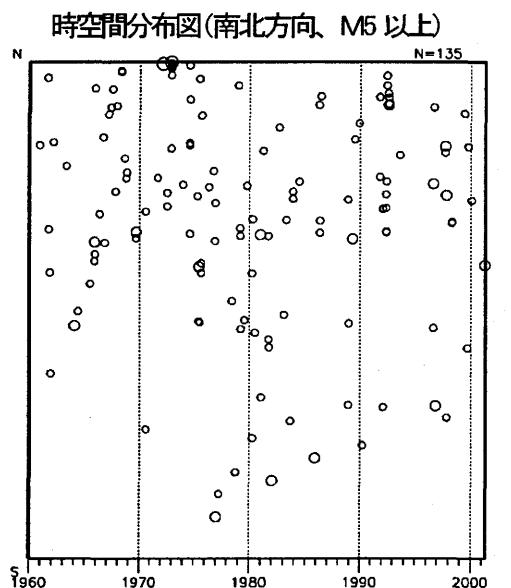
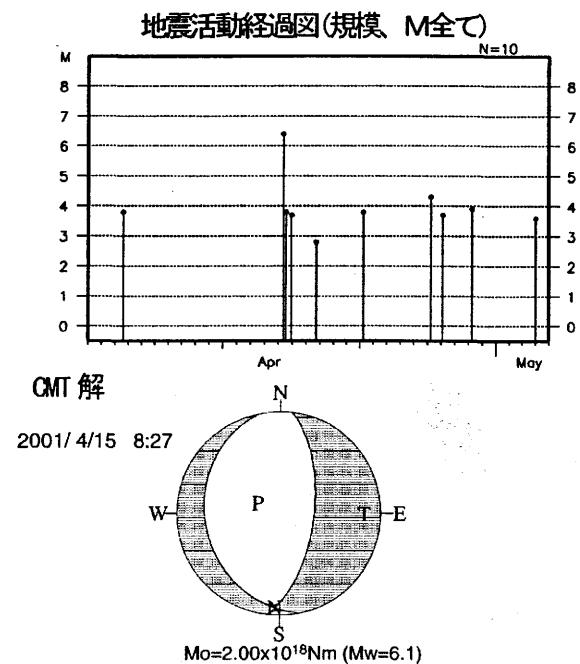
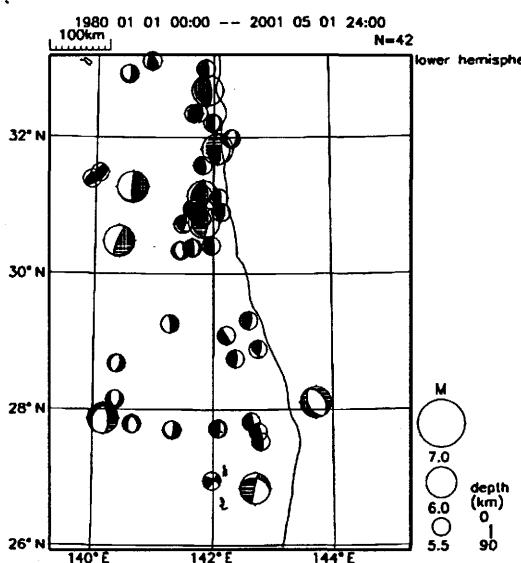


16日にM4.0、深さ 14km の浅い地震が発生した。その発震機構は東西方向に圧力軸を持つ逆断層型だった。

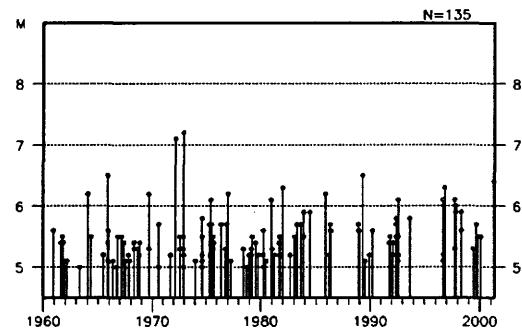
鳥島東方沖の地震活動



主要な発震機構(ハーバード大学による)



地震活動経過図(規模、M5以上)



15日に鳥島東方沖の海溝軸付近でM6.4の地震が発生した。その発震機構は東西方向に張力軸を持つ正断層型だった。

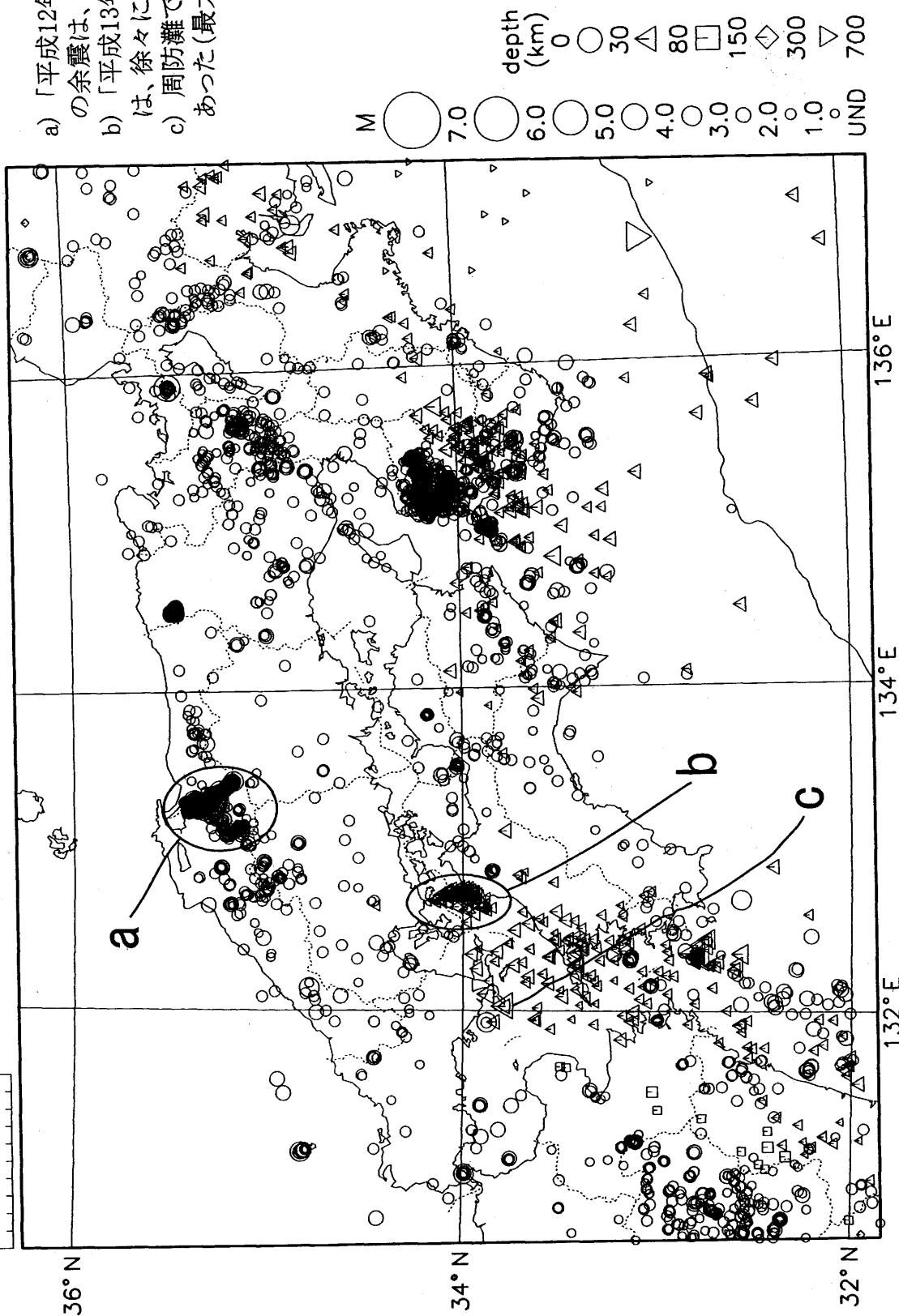
近畿・中国・四国地方

2001 04 01 00:00 -- 2001 04 30 24:00

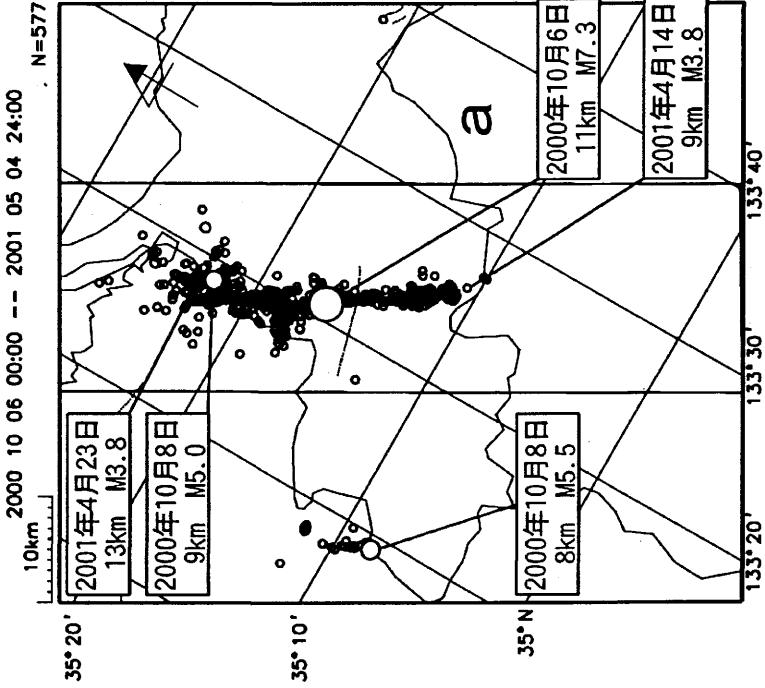
N=3809

100km

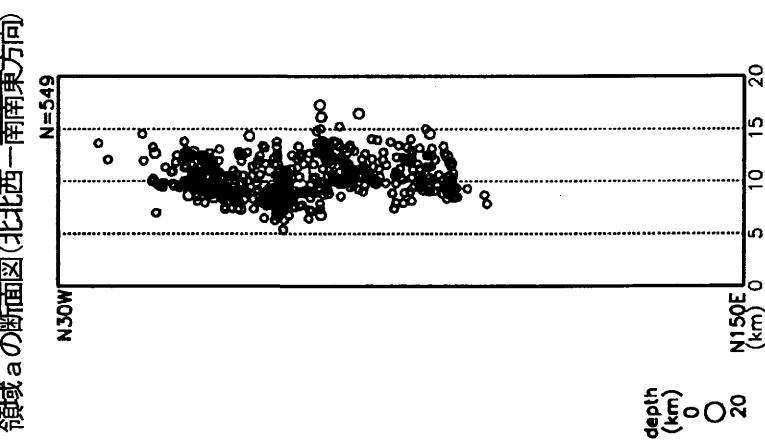
- a) 「平成12年(2000年)鳥取県西部地震」の余震は、徐々に少なくなっている。
- b) 「平成13年(2001年)芸予地震」の余震は、徐々に少なくなっている。
- c) 周防灘で4/3にM4.4の地震があつた(最大震度3)。



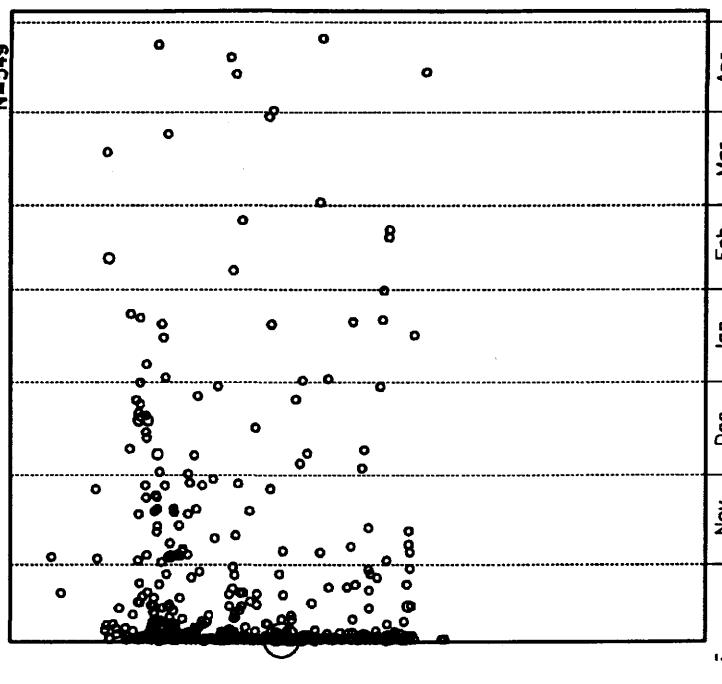
鳥取県西部の地震活動(M3 以上)



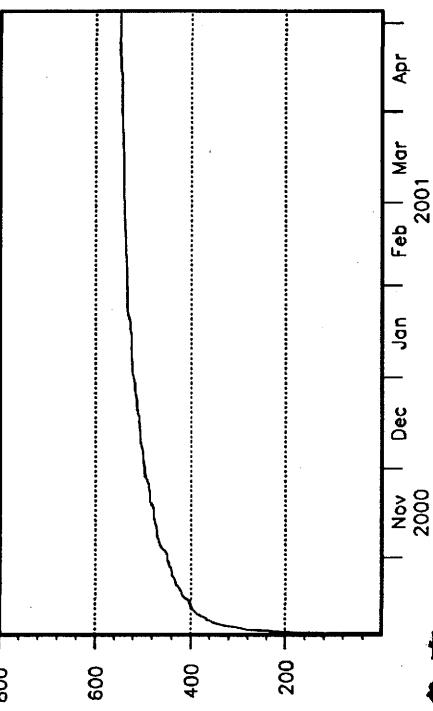
領域 a の断面図(北北西—南南東方向)



領域 a の時空間分布図(北北西—南南東方向)



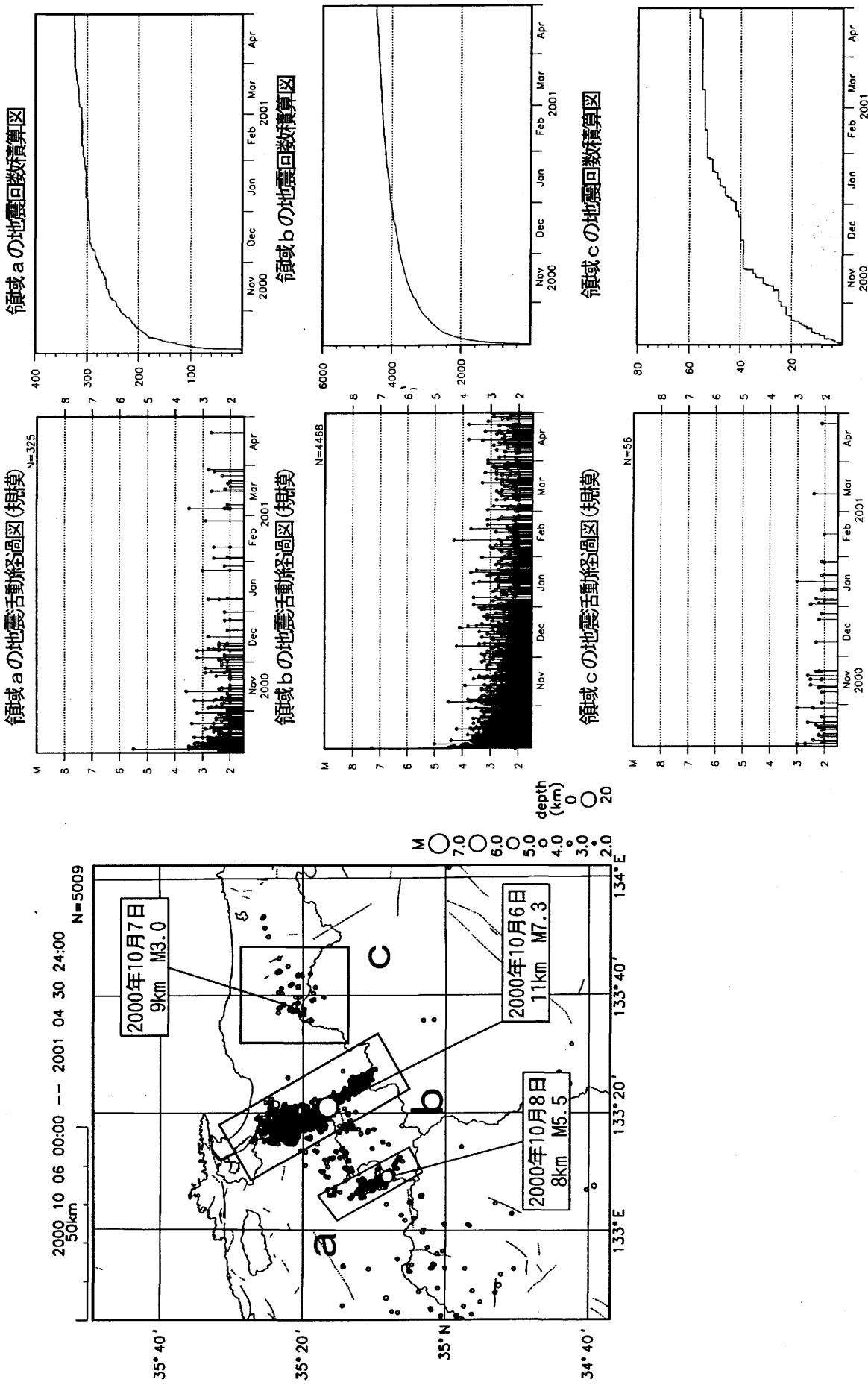
領域 a の地震活動経過図(規模)



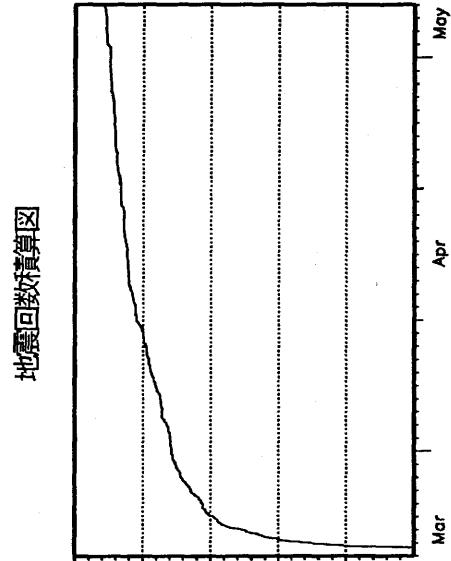
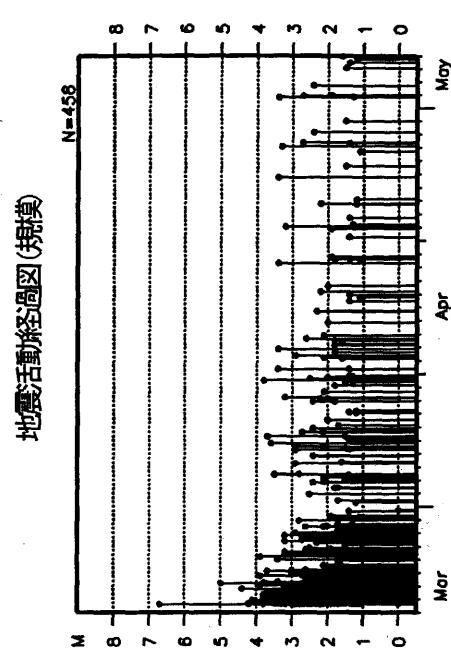
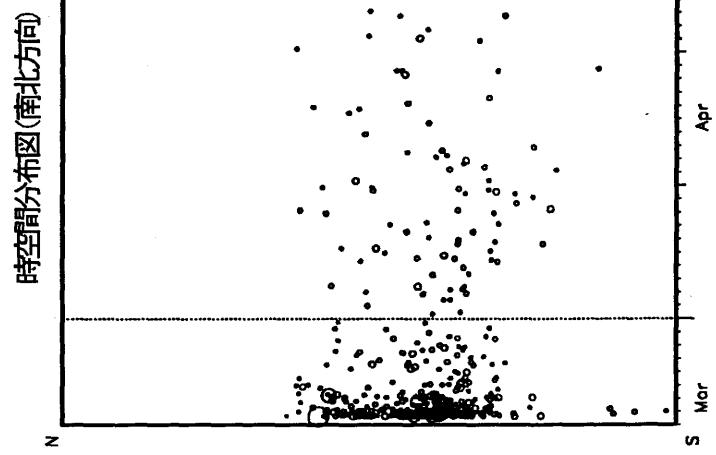
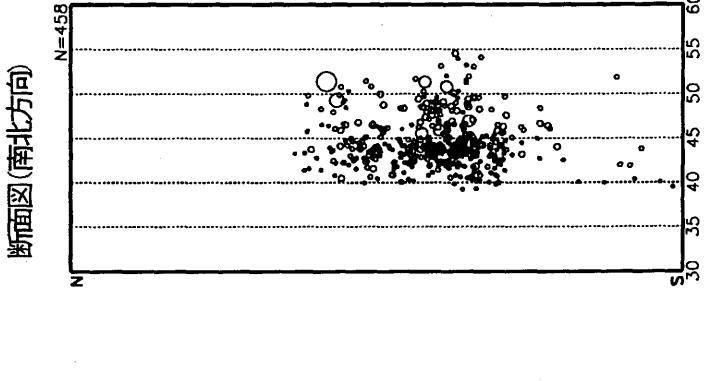
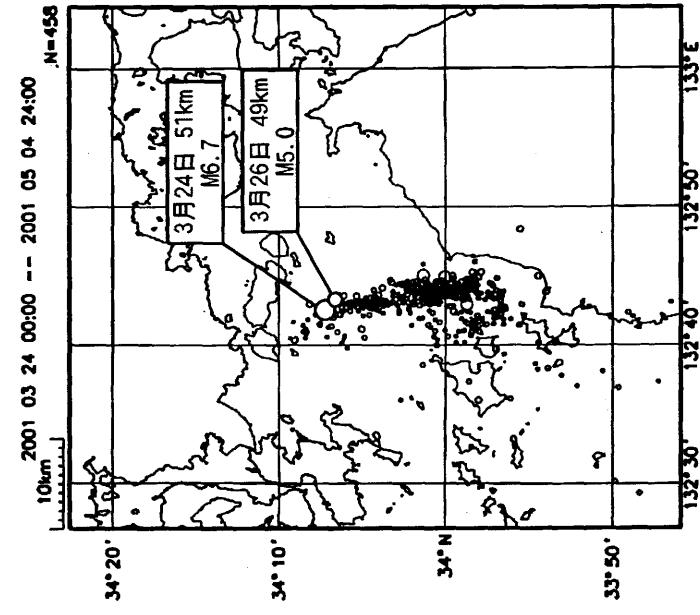
「平成12年(2000年)鳥取県西部地震」

が発生した余震域の南部で14日にM3.8の地震が発生した。また、余震域の北部で23日にM3.8の地震が発生した。

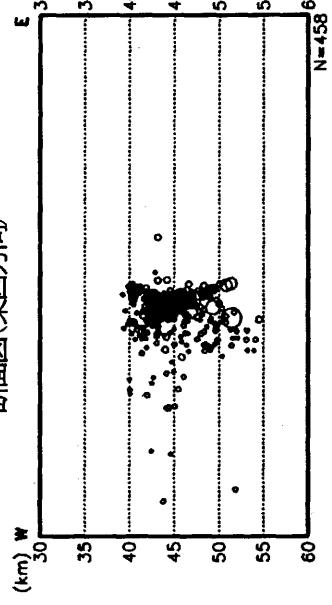
鳥取県西部の地震活動(M2以上)



安芸灘の地震活動



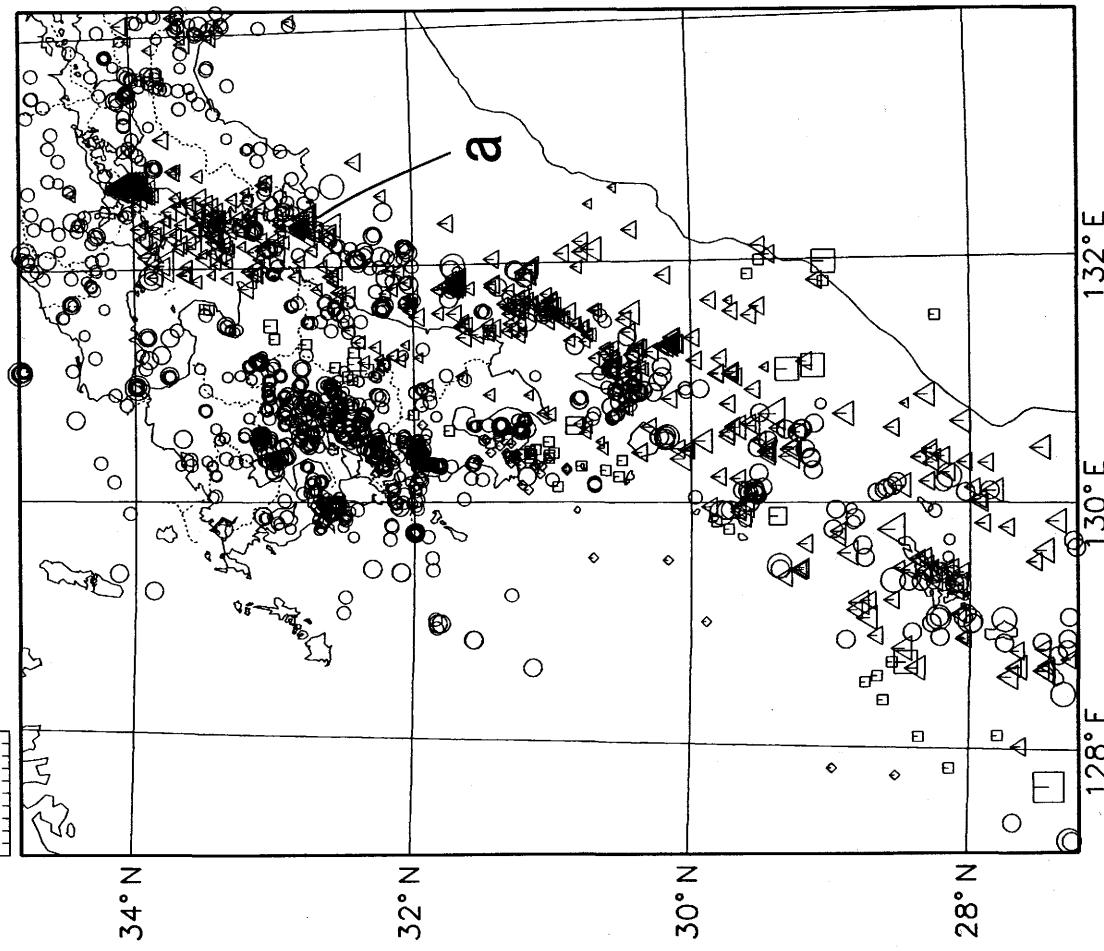
断面図(東西方向)



「平成13年(2001年)芸予地震」(M6.7、深さ51km)が発生した活動域では、地震活動が減衰してきている。

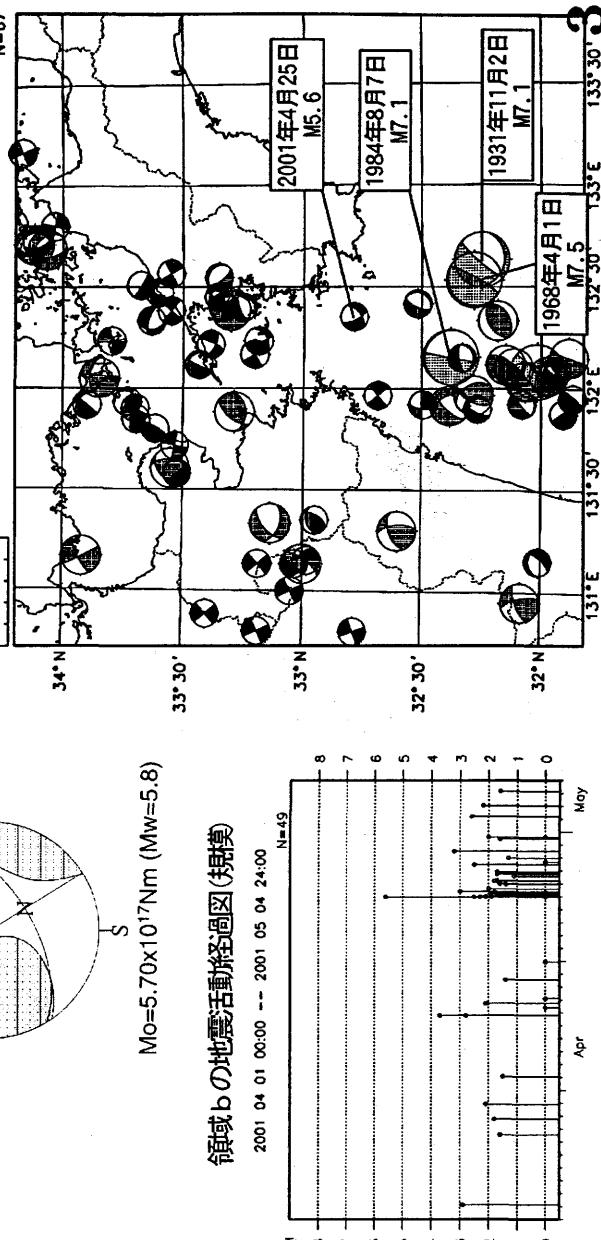
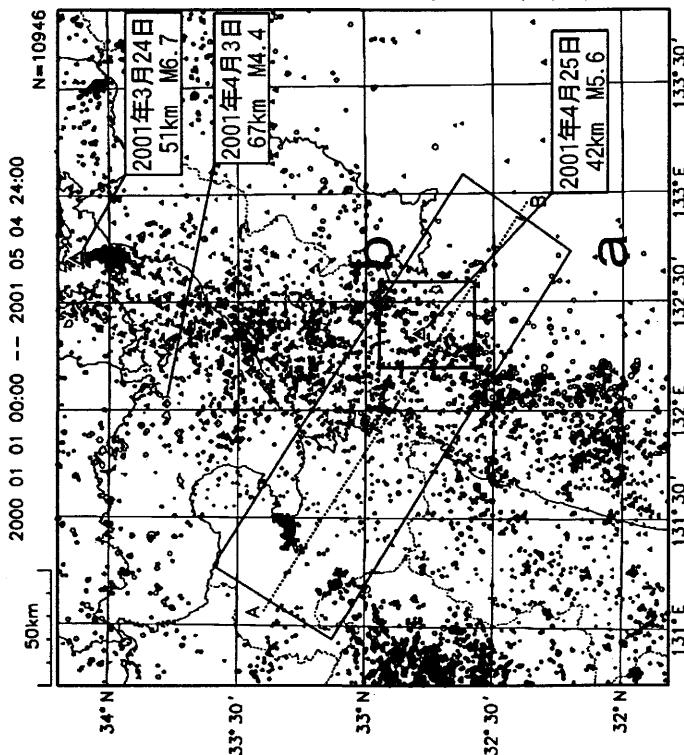
九州地方

2001 04 01 00:00 -- 2001 04 30 24:00
100km



a) 日向灘で4/25にM5.6の地震があった。
(最大震度4)。

日向灘の地震活動



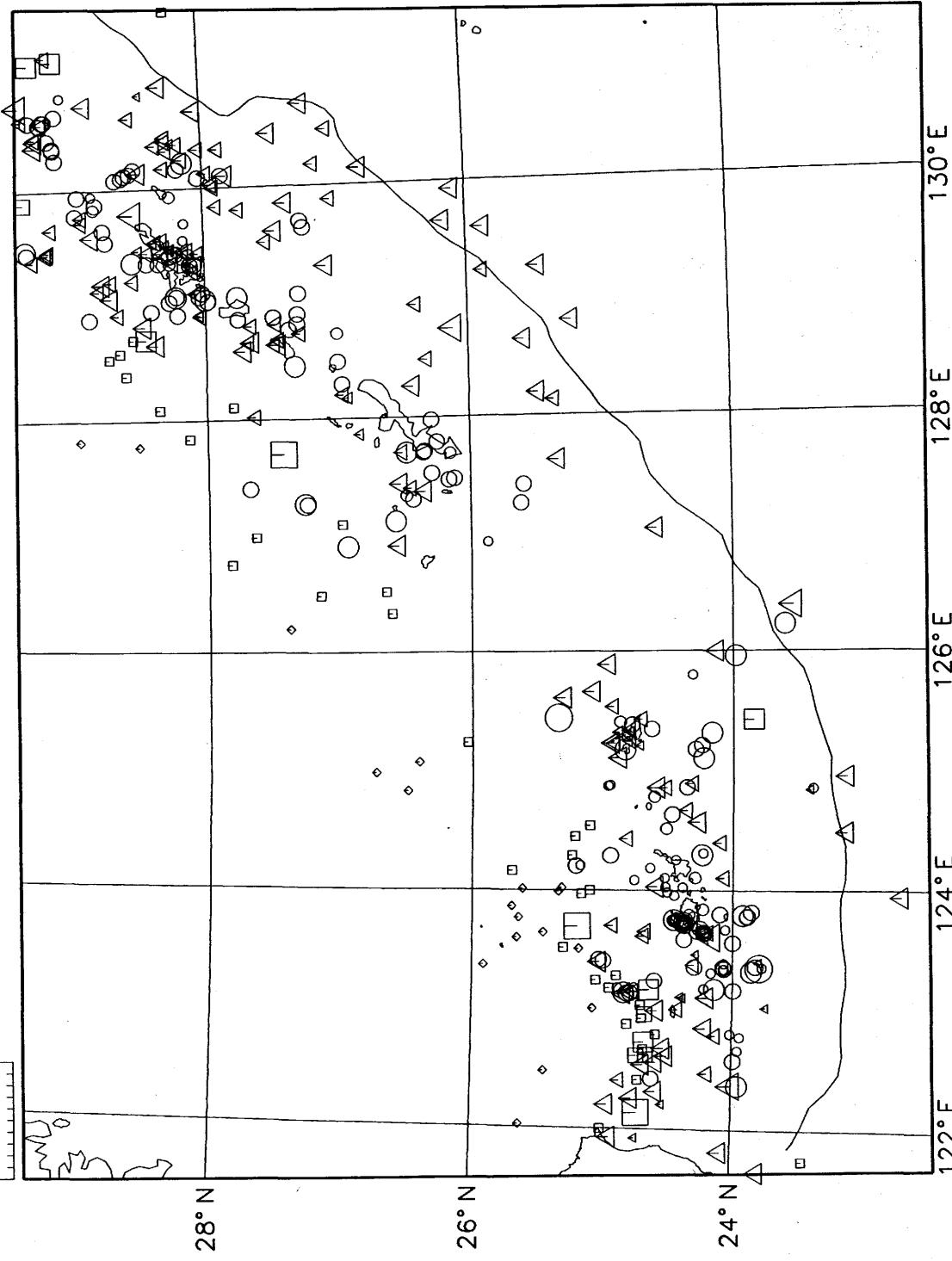
25日にM5.6、深さ42kmの地震が発生した。その発震機構は東西方向に張力軸を持つ型だった。

沖縄地方

2001 04 01 00:00 -- 2001 04 30 24:00

N=422

100km



特に目立った活動はない。

